

7インチワンセグ付 ポータブルナビゲーション TNK-718DT用

取扱説明書

本体操作説明書

Ver 1.0.0

※ナビゲーション操作については、

別冊「ナビゲーション操作説明書」をご覧ください。



- この度は、7インチポータブルナビゲーションをお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。
- ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく理解されてからお使いください。
- お読みになった後は、本書をいつでも見られる所に大切に保管してください。

ご使用上の注意

ご使用前に、必ず本書および付属の説明書をお読みいただき正しくおつかいください。

ご注意！

＜＜内蔵リチウムイオン充電式バッテリーについて＞＞

- ・炎天下や火のそばなどの60℃以上になる高温の場所では使用したり放置したりしないでください。

リチウムイオンバッテリー内部で異常な化学反応が起こり液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。

- ・強い衝撃を与えたり、鋭利なもので刺したり叩いたりしないでください。

リチウムイオンバッテリーが破裂や変形したりガス漏れなどにより、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。

- ・充電温度範囲は0～45℃で行ってください。

リチウムイオンバッテリーが急激に加熱されたり密閉状態が保てなくなり、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。また、バッテリー性能の低下や寿命が短くなることがあります。

炎天下の車内や直射日光の強いところなど高温になるところで使用したり放置したりしないでください。

ご使用後は、取り外して日陰など60℃以下のところで保管してください。

ご使用になる前に

<<パネルの保護シートについて>>

- 液晶パネル面に、製造および輸送時のキズ防止用の保護シートを貼付けて出荷しています。ご使用になる時は、保護シートは剥がしてお使いください。
- 貼ったままでは、画面上に縞模様がでたりタッチスイッチの動作不良になることがあります。

<<はじめてテレビを利用されるとき>>

- はじめてテレビを利用されるときは、**スキャン操作を行ってください**。
- また、移動等で受信エリアが変わった場合も同様にスキャンを開始して下さい。
- スキャンは受信環境の良いところでしばらく静止して安全を確認の上、放送局を検索してください。

<<車両等でのご使用の注意>>

- 安全のため運転中の操作および画面の注視はしないでください。
 - 車載スタンド設置する場合、運転の視界の妨げにならない位置に設置してください。
- また、必ず運転する前にしっかり固定されていることを確認してください。

<<SDカード、電源アダプターについて>>

- SDカードの必要以上の抜き差しはおひかえください。抜き差しする場合は、SDカードの端子部（金属部）には触れないでください。（故障の原因となります）
 - 車載用DCアダプターの必要以上の抜き差しはおひかえください。（故障の原因となります）
- 抜き差しを行う際は、まっすぐに行ってください。ねじったりすると故障の原因になります。
- 車載用DCアダプターやコードを必要以上に動かしたりさわったりしないでください。（接触不良の原因となります）
 - 付属の車載用DCアダプターはDC 12VからDC 24Vまで使用可能です。
- DC 12V車、DC 24V車のシガープラグへ直接接続してください。
- 電圧変換器（DC-DCコンバーター等）を使用すると故障の原因になることがあります。
- 社外の変換器などのご使用によって発生した不具合については当社はその責任を負いかねます。

<<登録情報について>>

大切な情報（地点登録など）は、万が一に備えてメモなどバックアップをおとりください。

修理の際は、初期状態に戻すことがありますのでその際は必ずバックアップをおとりください。

~~こんなとき~~

◆電源がはいらない。

充電が0になると電源コードをつないでも電源がはいりません。

その際は、電源コードをつないで30分以上充電後、電源をいれてください。

◆タッチパネルがうまく動作しない。

液晶パネルに貼ってある透明の保護フィルムをはがしてください。

◆画面が真っ白になる。（画面のポイント補正モードになる）

画面のタッチパネルのタッチ位置の補正の画面になっています。

この場合は中央に表示されている「+」をタッチしてください。

（「+」を長押しして、移動したら次の「+」を長押しします。）

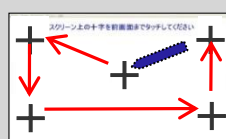
これを5回繰り返すと操作画面に戻ります。

※必ず付属のスタイラスペンのような先の細いものでタッチしてください。

指のように接触面積が広いと、タッチ位置が読み込めず何度も繰り返すことがあります。



白画面になったとき



「+」を順に
長押しする

初めてお使いになるときに ～初期設定について～

＜＜ナビゲーションのご使用の前に＞＞

ご使用前に、GPS衛星からの情報を受信できることをご確認ください。

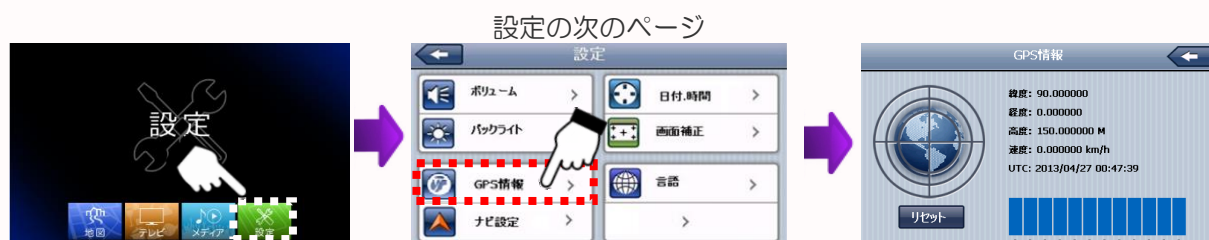
**屋外の上空の開けた場所で、
現在地を表示するまでお待ちください。**

初めて使用する時や前回使用した場所から離れている場合、
数十分かかる場合があります。動かさずにお待ちください。

～受信状況確認する場合～

一度ナビを終了して

「設定」→「」にて次ページ→「GPS情報」をタッチすると
受信状況が確認できます。



＜＜テレビの設定＞＞

ご覧になる前に、チャンネル設定（スキャン操作）を必ず
おこなってください。 ※詳しくは18～19ページをご覧ください。

＜＜お車への取付＞＞

・お車への取付の際は、しっかりとゆるみのないことを確認して
ください。（運転の前に必ず確認してください。）

※詳しくは12～14ページをご覧ください。

・直射日光の当たる場所などに長時間放置しないでください。

夏場など高温時に長時間放置していると、スタンドの吸着力が弱くなったり、サンバイザー、
本体製品などの変形により落下してけがをしたり、故障の原因となることがあります。
しばらくお使いにならない場合は、取り外して日のあたらない場所に保管してください。

目 次

1. はじめに	-----1
2. 安全上のご注意	-----2
3. 使用上のお願い	-----6
4. 商品構成	-----9
5. 各部の名称	-----10
6. リセット機能	-----11
7. 車への取付け	-----12
8. 本体電源の取扱方法	-----17
9. ワンセグTV	-----18
9-1.チャンネル設定（スキャン操作）	-----18
9-2.ワンセグTVをみる	-----20
9-3.ワンセグTVの各種設定	-----20
9-3-1.設定「チャンネル」	-----21
9-3-2.設定「基本設定」	-----21
9-3-3.設定「ビデオ」	-----22
9-3-4.設定「情報」	-----22
9-4.ワンセグTV（EPG番組表）	-----23
9-5.ワンセグTV（録画／再生）	-----24
10. メディア(動画、音楽、写真)	-----25
10-1.動画	-----26
10-2.音楽	-----27
10-3.写真	-----28
11. 設定	-----29
11-1.ボリューム設定	-----29
11-2.バックライト設定	-----30
11-3.日付・時間 管理	-----30
11-4.画面補正 設定	-----31
11-5.GPS設定	-----31
11-6.ナビ設定	-----32
11-7.言語設定	-----32
11-8.ファクトリーリセット	-----33
11-9.システム情報	-----33
11-10.USB設定	-----34
12. ソフトウェア仕様	-----35
13. ハードウェア仕様	-----36
14. 困ったときには	-----37
15. お問い合わせ先	-----38

1 はじめに

この度は当社ナビゲーションをお買い求めいただき誠にありがとうございます。
快適にご使用していただくために下記説明を補足いたします。ご一読いただき
正しくお使いください。

本書の画像写真やイラストは説明のため、実物と異なる場合がありますが、
ご了承願います。

GPSナビゲーションとは

本機に搭載されておりますGPSによるナビゲーションシステムは、衛星
よりの位置情報を補足することで目的地までのナビゲーションを行う
システムです。従いまして、GPSナビゲーションは車速やジャイロを使用
して自車位置と目的地までの到着ルートを算出するナビゲーションとは仕様
が異なりますのでその特性をご理解の上、ご使用下さいますようお願い
致します。

<<GPSナビゲーションの特性>>

- ①天候・道路環境・建物環境などによっては、正確なルート表示・案内が
行われない場合があります。
- ②設定されたルート通りの走行を行わなかった場合などリルート機能により
頻繁に目的地までの再計算を行います。場合によっては搭載されているCPU
に負荷が掛かりフリーズする場合があります。この場合は本機のリセット
ボタンを使用することで復元されます。トンネル内や道路事情・建物環境に
よってGPSが衛星を補足する条件が悪化した場合にはこれらの環境が改善
された場合でも正しい動作をしない場合がありますのでご了承願います。
- ③電源をOFFする際、スリープモードと電源OFF（完全に電源を切る）
モードがあります。スリープモードの場合、ナビのデータを記憶している
ため時々CPUに負荷がかかる場合があります。この場合は本機のリセット
ボタンを押してください。
- ④電源投入後しばらくの間は現在地の測位を行いますのでルート設定出来
ない場合があります。目安は本機の画面上に現在時間が表示されまると
測位完了しております。ルート設定や各種機能进行操作される場合は建物障害
の無い安全な場所に停車して行ってください。運転中の操作は絶対におやめ
ください。
- ⑤はじめてお使いのときや前回使用したときから遠く離れたのち電源を入
れたとき、GPS衛星からの位置情報が大きく変わりデータ量が多くなるため、
数十分時間がかかる場合があります。（コールドスタートと呼びます。）
いったん受信完了し測位出来ましたらその後は、GPSからの受信は速く
なります。

2 安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の意味

表示	表示の意味
 危険	この表示を無視し取扱いを誤った場合人が死亡または重傷(*1)を負う可能性が高いことを示します。
 警告	この表示を無視し取扱いを誤った場合人が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されることを示します。
 注意	この表示を無視し取扱いを誤った場合人が傷害(*2)を負う、又は物的損害(*3)の発生が想定されることを示します。

■図記号の意味

図記号	図記号の意味
 禁 止	“⊘”は、禁止(やってはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指 示	“●”は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注 意	“△”は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

*1 :重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、骨折、中毒、感電などの後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2 :傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3 :物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

異常を感じたとき

警告

- 煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
- 内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
- 落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
- 電源コードが傷んだり、プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと



プラグを抜く



プラグを抜く



プラグを抜く



プラグを抜く

- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認しお買い上げの販売店又はサポートセンターにご連絡ください。
- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店又はサポートセンターに点検をご依頼ください。
- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店又はサポートセンターに点検をご依頼ください。
- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店にまたはサポートセンターに交換をご依頼ください。

使用するとき

●修理・分解・改造しないこと



分解禁止

火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはサポートセンターにご依頼ください。

●内部に異物を入れないこと



異物挿入禁止

針やクリップなどの金属類、紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災や感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●雷が鳴り出したら本機や電源プラグに触れないこと



接触禁止

火災・感電の原因となります。

●水に濡らしたりしないこと



水ぬれ禁止

火災・感電の原因になります。飲み物をこぼしたりしない。また雨天、降雪時や海岸、水辺でのご使用時は特にご注意ください。

●歩行中や乗り物を運転しながらの使用時は周囲の安全を十分注意し直視しないこと



禁止

交通事故の原因となります。

●ルート案内中でも、常に実際の交通規則に従う



禁止

交通事故の原因となります。



注意

●ヘッドホン、イヤホン等をご使用になるときは音量をあげすぎないこと



禁止

大きな音量で聞くと聴覚機能に悪影響をあたえることがあります。

●電源を入れる前には音量を最小にすること、外部接続時はその音量を最小にすること



指示

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

●液晶画面の破損により液体が漏れてしまった場合、液体を吸い込んだり飲んだりしないこと



禁止

中毒をおこすおそれがあります。万一、目や口に入った場合は、水で洗い医師の診察を受けてください。

設置するとき

●屋外や風呂、シャワー室など水のかかる恐れのある場所には置かないこと



火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

●ぐらついたり傾いた所など不安定な場所や振動のある場所には設置しないこと



禁止

本機が落下して、けがをしたり、故障、破損の原因となります。

●ひざの上などで使用するなど上に肌にふれないないこと



禁止

低温やけどの原因となります。
(低温やけどは体温より高い温度のものを長時間あてていると発生するやけどです。)



注意

●温度の高い場所に置かないこと



禁止

直射日光の当たる場所・締め切った車内、ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因および破損、部品の劣化となることがあります。

●湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと



禁止

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災や感電の原因になります。

●風通しの悪い場所で使用しない



禁止

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。また、温度上昇により、動作不安定になることがあります。

●本機の移動させる場合は、DCアダプターやその他外部接続線ははずすこと



指示

配線を抜かずに運ぶとコードが傷付き火災・感電の原因となったり、落下によるけがの原因となることがあります。

車載用DCアダプターについて



警告

●DCアダプターを分解、改造、修理しないこと



分解禁止

火災・感電の原因となります。

●DCアダプターは付属のものを使用すること



禁止

指定以外のシガーアダプターを使用すると火災・故障の原因となることがあります。

●DCアダプターのコードは傷付けたり、加工したり、加熱したりしないこと



指示

火災・感電の原因となります。

・引張ったり、重いものをのせたりはさんだりしないこと

・無理に曲げたりねじったり束ねたりしないこと

●DCアダプターはDC12V～24V対応です。電源変換器は使用しないこと



禁止

電圧変換器（DC-DCコンバータ）を使用すると故障の原因になることがあります。

●時々電源プラグを抜いて接点をきれいに掃除すること



指示

電源プラグの絶縁低下により火災の原因になります。



注意

●ぬれた手でDCアダプターを抜き差ししないこと



指示

感電の原因になります。

●電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと



指示

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。

●旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと



プラグを抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

●付属のDCアダプターを本機以外の他の用途に使用しないこと



禁止

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

●電源プラグはソケットの奥まで確実に差し込むこと



指示

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

●注意事項

- ・GPS電波が受信できない場所（建物の中、地下、見晴らしの悪い場所等）でナビゲーション機能は利用できません。また、悪天候、車内の無線機器、フロントガラス反射材などによる障害により利用できない場合もあります。
- ・GPS衛星は、米国国防総省により運用されていますが、GPS衛星の精度低下や故障によって不都合が生じる場合があります。
- ・サージ電流からの保護のためにエンジン始動後にシガー電源を接続することをお勧めします。
- ・液晶画面は、傷つきやすい硬いものでタッチしないでください。
- ・初回の充電は電源OFFにして充電し、高温、高湿度の場所で充電は行なわないでください。また、電池保護のため長時間使用しない場合でも2週間に1度など定期的な充電をお勧めします。
- ・地図や検索で使われる情報は、その正確性、最新性について現状と異なる場合がありますのでご注意ください。
- ・本機を廃棄される際は、お客様が登録したデータが流出する可能性がありますので、登録内容を完全に消去してから廃棄されることをお勧めします。

●免責事項

- ・本製品の提供するすべての情報について、その正確性、有用性、最新性、適切性など何ら法的保障をするものではありません。
- ・お客様または第三者が本製品を利用、また使用不能によって生じた損失、損害には一切責任を負いかねます。
- ・お客様または第三者による本製品を利用しての事故や業務上の損害、お客様が入力したデータの消失による損害も保障いたしません。

3 使用上のお願い

取扱いについて

- 液晶画面を傷つけたり衝撃を与えたりしないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。カバンに入れたり、体に身につけたりした場合にも十分ご注意ください。
- 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、梱包材を使用し振動が伝わらないように、また外観や液晶パネルが傷がつかないようにしてください。
- 殺虫剤、芳香剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 長期間使用しないとき機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて使用してください。

※液晶、タッチパネルの破損は補償対象外となりますのであらかじめご了承ください。

置き場所について

- 直射日光のあたる場所、熱器具の近く、締め切った車内など温度が高くなる場所に置かないでください。変形、変色、故障や発火の原因となります。
しばらくお使いにならない場合は、取り外して日のあたらない場所に保管してください。
- 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れについて

- 本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
ベンジン、シンナー、アルコール等の有機溶剤は絶対使用しないでください。
割れたり変色したり塗装はがれの原因となります。
- 液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

メモリーカードについて

- メモリーカードの容量やメーカーによっては、再生できない場合があります。
対応していない種類のメモリーカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本機およびメモリーカードが故障・破損するおそれがあります。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本機でメモリーカードを使用することによって、万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの保障、およびこれらに関わるその他の直接または間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 抜き差しする場合には、microSDカードの端子（金属部）には触れないでください。
- メモリーカードの取扱いかたについては、各メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。
- 通常のご使用でデータが破損（消滅）することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破損（消滅）することがあります。記録されたデータの破損（消滅）については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メモリーカードを本機に差し込むときは、上下（表裏）の向きに注意して、最後までしっかりと差し込んでください。

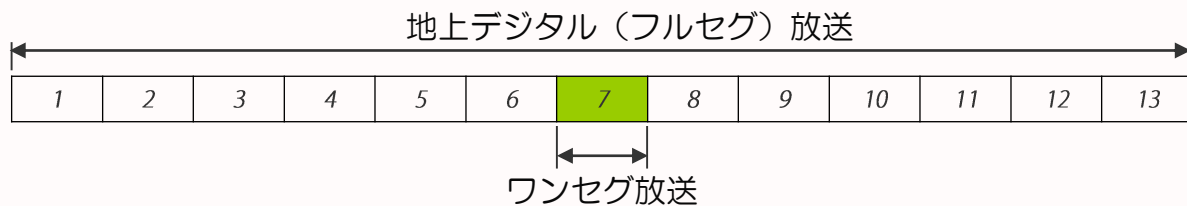
- メモリーカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなどの無理な力や強い衝撃を与えないでください。
- 強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。
- 高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。
- メモリーカードの金属部(金色の部分)にゴミや異物がつかないように、また手で触れないように注意してください。
- メモリーカードを持ち歩いたり、保管をするときには静電気防止ケースに入れてください。
- 直射日光があたるところや、ストーブやヒーターなど熱源のそばに放置すると破損、故障の原因になることがあります。
- ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。破損、故障の原因となります。
- 本機から取り出したメモリーカードが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- メモリーカードには寿命があります。長時間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合には、新しいメモリーカードをお求めください。

テレビ受信について

- ご購入後、はじめてテレビをお使いになる場合必ずスキャン操作をしてください。
スキャンは使用する地域で受信可能な放送局を記憶させる操作で、テレビを視聴するために必ず行なう設定です。
- スキャン操作ははじめて使用する時以外にも移動や引っ越し等で受信可能な放送局が変わる場合や、ご使用の地域で新しい放送が開始された場合等にも再度設定する必要があります。
- 本製品のテレビ機能は日本国内の地上デジタル放送を受信するためのものです。海外ではご使用になれません。
- 建物の陰や窓際から遠い室内や地下等では電波が届かないため放送を受信することができません。また、屋外でも電波が弱い場所では受信できない場合があります。

<<ワンセグとは>>

「ワンセグ」は地上デジタル放送のひとつで、移動中でも受信できるサービスです。地上デジタル放送は1チャンネルの帯域幅内で13個のセグメントに分割し使用しています。そのうち一つのセグメントを利用して放送していることから「ワンセグ」と呼んでいます。詳しくは社団法人デジタル放送推進協会（Dpa）のホームページ（<http://www.dpa.or.jp/>）をご覧ください。
放送エリアのめやすは（<http://dpa-tv-area.jp/>）にてご確認ください。



フルセグに比べ、ワンセグはデータが軽いため弱い電波でも受信が可能で
高速移動中でも広範囲で受信が可能です。

ワンセグについての注意

放送エリア以外の地域では視聴できません。必ずご使用する地域で放送局のスキャンをして受信できる放送局を設定してください。
放送エリア内でも、周囲の地形や建物などにより電波が届かない場所やトンネル、建物内などでは受信できないことがありますのであらかじめご了承ください。
受信状況が最も良くなるようにアンテナの設定を調整してください。

<<TVの設定>>

本製品をはじめてご使用になる前に、下記の方法で地上波デジタルワンセグ放送を受信するためのチャンネル設定を行って下さい。使用する地域で受信可能な放送局を自動的に選局して記憶いたします。(スキャン操作) 移動したときや引っ越しなどで受信地域が変わった際にも再度設定してください。スキャンを行う時は受信状況の良いアンテナ設定後行ってください。

チャンネル設定 (スキャン操作)

※アンテナの向きは受信の良い位置に調整してください。

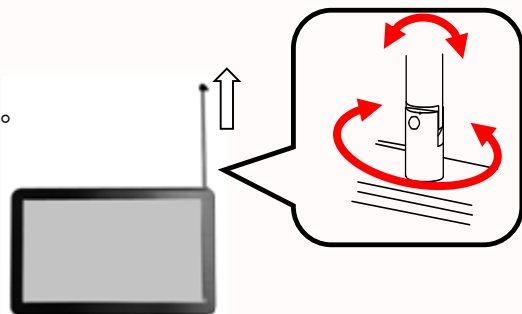
①アンテナの準備

本体の右上についているアンテナを引き延ばしてください。

※アンテナの向きは受信の良い位置に調整してください。

<注意>

※無理にアンテナを動かしますと曲がったり折れたりします。



①アンテナを引き延ばす

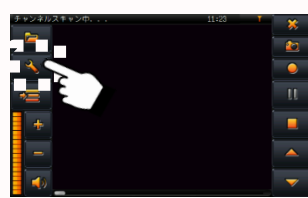
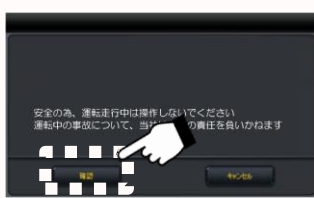
②チャンネル設定 (スキャン操作)

- (1) 「メインメニュー」の「テレビ」アイコンをタッチします。
- (2) 安全のための警告の内容を確認しましたら「確認」をタッチし、ワンセグTVの操作画面を表示させます。
- (3) ワンセグTVの操作画面の「設定」ボタンをタッチします。
- (4) 地域ボタンを「A11」または現在の地域～都道府県の順にタッチします。
- (5) 「スキャン」ボタンを押し、お近くの受信可能な放送局を選局します。スキャン後、探し出した受信可能な放送局を抽出します。
- (6) 「適用」を押し受信可能な放送局を記憶させます。
- (7) チャンネルリストからお好みのチャンネルを選び視聴してください。
また、チャンネル「+、-」ボタンで選局もできます。

②-(1) 「テレビ」をタッチ

②-(2) 「確認」をタッチ

②-(3) 「設定」をタッチ



②-(5) 「スキャン」をタッチ

②-(6) 「適用」をタッチ



チャンネル
設定完了

「ALL」又はお住まいの「地域」をお選んで「スキャン」をタッチする。
※放送局がうまく取れない場合は、ALLを選んでスキャンしてください。

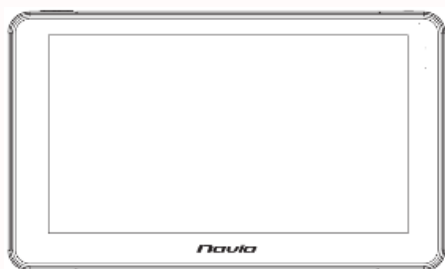
スキャンが終わると
「スキャン完了」
が表示

4 商品構成

本機を使用する前に、本体および付属品の確認を行ってください。

※イラスト、画像が実物と異なる場合があります。

① 本体



(バッテリー内蔵)

② 車載用DCアダプター



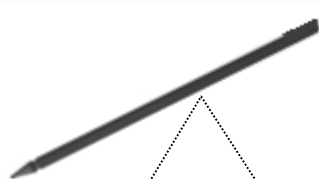
③ 車載用吸盤スタンド (スタンド背面にスタイラスペン付属)



④ 吸盤ベース板



⑤ スタイラスペン (車載用スタンド裏に付属)



スタイラスペンの収納場所

スタイラスペン



スタンド

③ サンバイザー



⑥ かんたん操作マニュアル 注意文(保証書付)



5 各部の名称

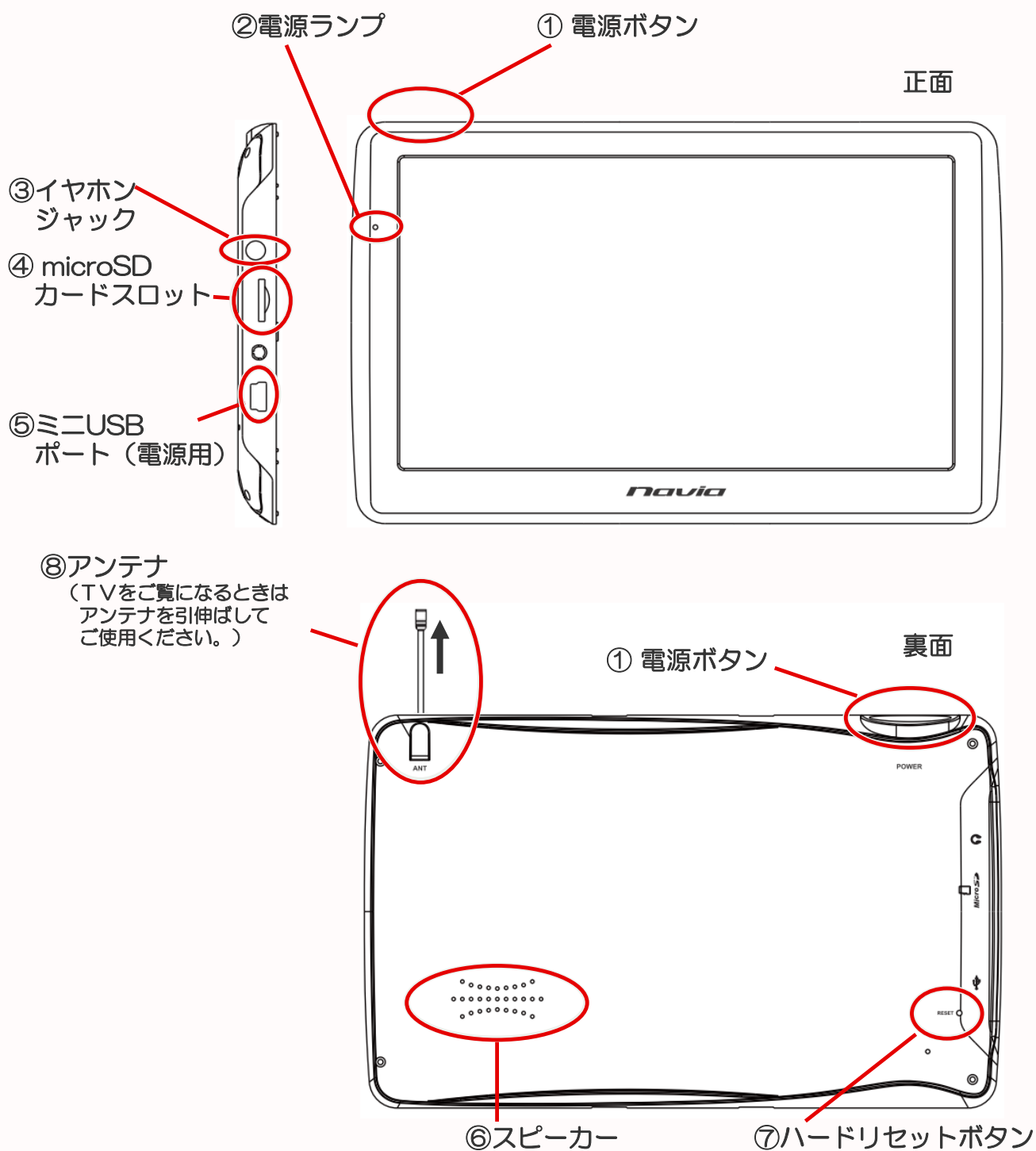
電源ランプについて

充電中：赤点灯

充電完了：消灯(電源オフ時)

緑点灯(電源オン時)

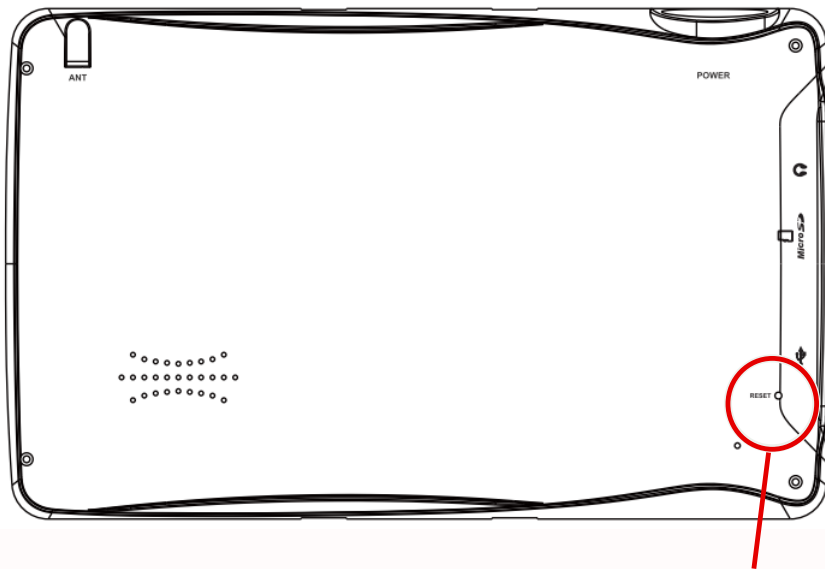
バッテリー使用時：緑点灯



6 リセット機能

【ハードリセット】

本機になんらかの障害が発生しハードリセットを行う場合は、スタイラスペン等でハードリセットボタンを軽く押し、ハードリセットを行ってください。

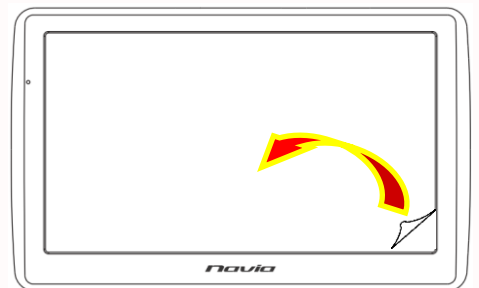


ハードリセットボタン

※メニュー操作中や地図表示中になんらかの原因で画面がフリーズしてしまった場合は、上記のハードウェアリセットボタンをスタイラスペン等で押してリセットを行ってください。

パネルの保護フィルムについて

本機種は出荷時に液晶パネル面に製造時および輸送時のキズ防止のために、保護フィルムが貼られています。
ご使用になる際は、剥がしてお使いください。
貼ったままにしていると、画面上に縞模様がでたり、タッチパネルのタッチスイッチの動作不良になることがあります。



保護フィルムをはがす。

7 車への取付け

前方視界基準について

国土交通省の定める道路運送車両の保安基準に従って、運転中に前方の視界や、エアバックなどの妨げにならないようにダッシュボード上などに取付けてください。

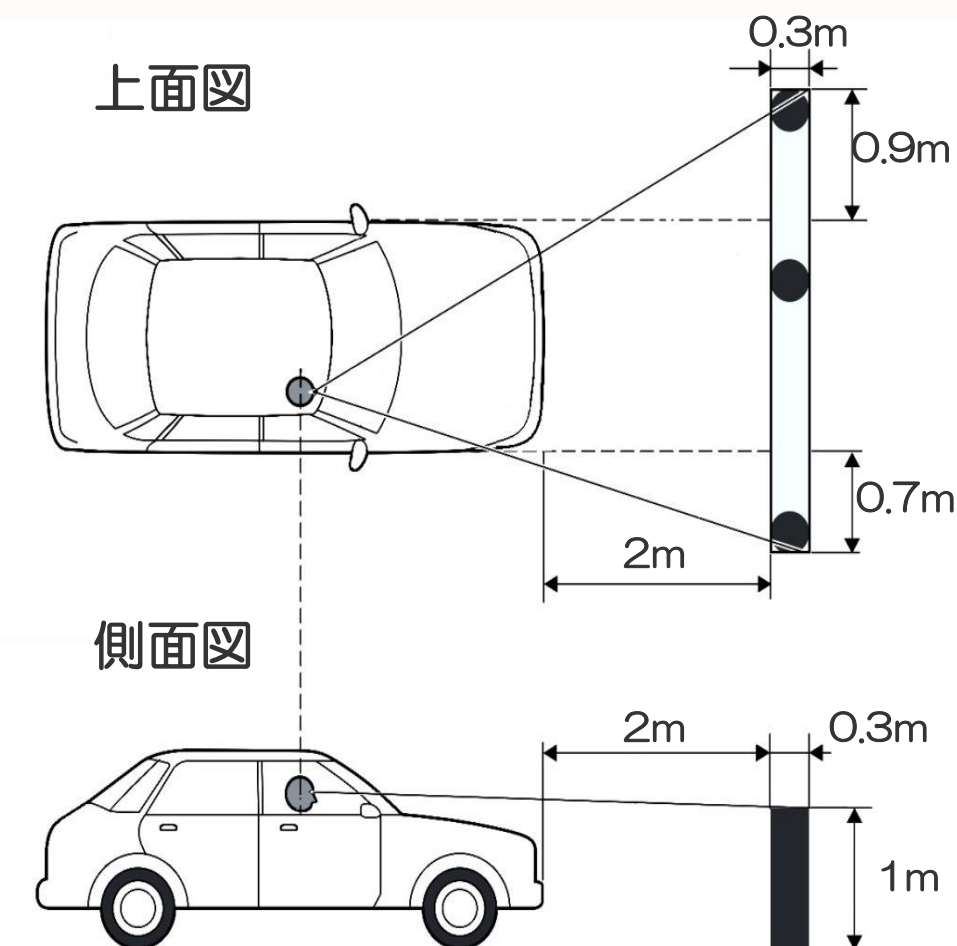
前方視界基準

●対象車両

専ら乗用の用に供する自動車（乗車定員11人以上のものを除く。）
車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車

●基準概要

自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱（6歳児を模したもの）を鏡等を用いず直接視認できること。



※図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合は、左右が逆になります。

取付けについてのご注意

- 付属のスタンドを使用してください。
- エアバックカバー部及び作動時の妨げになる場所には取付けないでください。
(取付けについては安全を考慮して、ディーラーや販売店にご相談ください。)
- フロントガラスには取付けないでください。
- スタンドを取り付ける際は、凹凸の無い平らな面をお選びください。
- 柔らかい材質、布製、革製の面には取付けできません。
- 下記のような場所には取り付けないでください。

※スタンドが落下するおそれがあります。

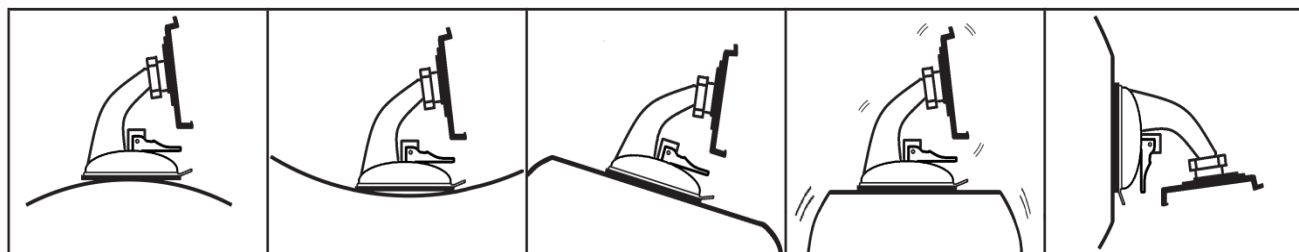
・密着しない曲面
例)凸面

・密着しない曲面
例)凹面

・傾いた面

・不安定な面

・垂直な面



- ダッシュボード上に吸着ベース板を貼る際は、**前方視界を十分に確保**でき
安全基準を満足できる位置を決定後貼り付けてください。
- 吸着ベース板を貼り付ける前にワンセグTV用アンテナを伸ばしフロントガラス
等にあたらないことを確認してください。
- 吸着ベース板を貼付け位置が決定したら、貼付け面のほこりや油分などを十分に
ふき取ってから貼り付けてください。
- 両面粘着テープの貼付けは一回のみです。**貼り直しはしないでください。**
(貼付け強度が極端に落ち、落下の恐れがあります。)
- 両面粘着テープは貼付け直後は接着強度が弱いので、24時間以上おいてから
製品を取り付けてください。
- 両面粘着テープを剥がすときは、強力な粘着テープを使用しているため、
貼付け面を傷めたり、破れたりすることがあります。
- ご使用になるまえに、吸盤、ロック、粘着テープ等が**確実に取付いていること**を
確認してからご使用ください。
- 直射日光の当たる高温になる場所に長時間放置しないでください。**
発火、変形、劣化による落下の原因になることがあります。

＜＜注意＞＞

ダッシュボードの上など直射日光の当たる高温になる場所でご使用になる場合
ご使用にならないときは外して高温にならないところで保管してください。
また、長時間車から離れる場合は本体をホルダーから外し保管してください。
落下による故障の原因になる場合があります。

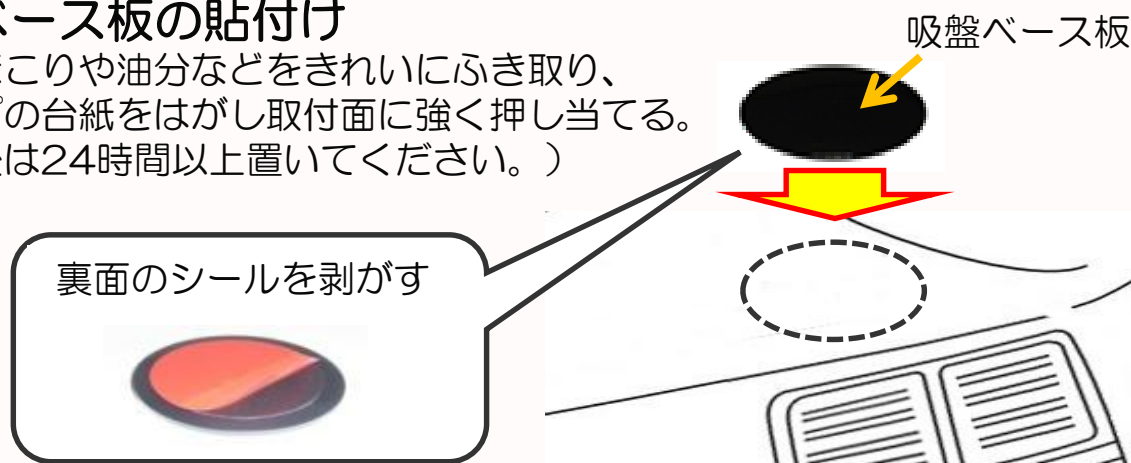
スタンドの取付け方法

※形状、イラストは実物と異なることがあります。

運転中に前方の視界や、エアバックなどの妨げにならないようにダッシュボード上などに取付位置を決めます。

①吸盤ベース板の貼付け

貼付面のほこりや油分などをきれいにふき取り、両面テープの台紙をはがし取付面に強く押し当てる。
(貼付け後は24時間以上置いてください。)



②スタンドの組立て

・デバイスホルダーの4個の穴にスタンドのフック部を入れる。

・スタンドのフック部にカチッとロックするように、デバイスホルダーを矢印の方向に両手でスライドさせる。

※デバイスホルダーは強度上ロックを強くしています。スライドさせる際は強め押してください。

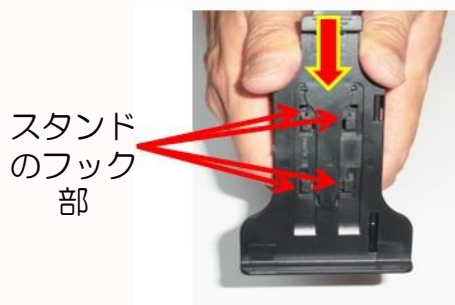
※デバイスホルダーとスタンドが組立で納入されている場合は、フック部がしっかりロックされていることを確認下さい。

※デバイスホルダーをスタンドから外してお使いの際は、逆方向に両手でスライドさせてはずしてください。

ホルダーの穴をスタンドのフックに合わせる。



デバイスホルダーを矢印の方向にスライドさせる。



③スタンドの固定

吸着ベースの表面をきれいにふき取りスタンドを置き、レバーを倒して固定する。

※形状、イラストは実物と異なる
ことがあります。

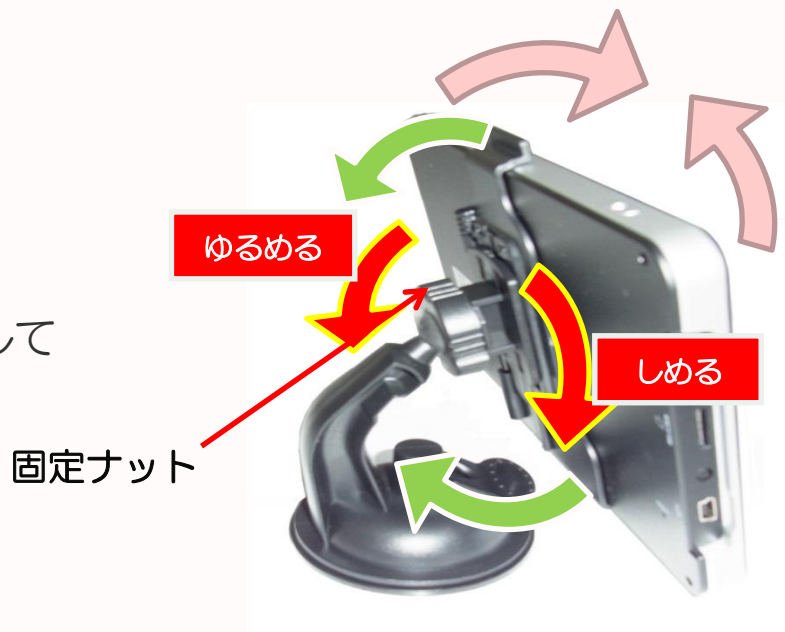
④製品の固定

スタンドの下のツメに合わせ
製品本体をカチッとロックする。
（上のツメがカチッとロック
したことを確認してください。）



⑤角度調整

固定ナットをゆるめ、
お好みの角度に調整して
固定ナットをしめる。



＜＜ 注意 ＞＞

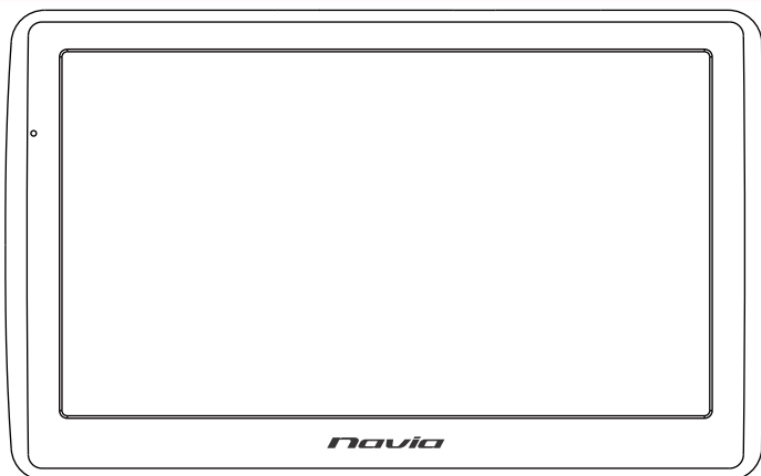
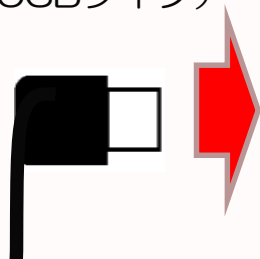
運転前に必ず、吸盤、固定ナット、粘着テープ、ロック
が確実に取付いているか確認の上ご使用ください。

※万が一、落下等による液晶、タッチパネルの破損がございましたも、
補償対象外となりますのであらかじめご了承ください。

電源配線の方法

①DC電源アダプターの端子側面の電源ソケット（miniUSBタイプ）に接続する。

充電用端子
（miniUSBタイプ）



※本体への接続時、ソケットにストレスがかからないように接続してください。
プラグやソケットの接続不良になる場合があります。

② DCアダプターを
車のシガーソケットにさす。
※シガーソケットの中に異物が
ないことを確認してから挿入して
ください。
※DCアダプターは真直ぐに
ゆっくりさしてください。
※奥までしっかりとさして下さい。
※配線は運転に支障の無い様に配線
してください。

※配線する場合は、アダプター
の根元から折り曲げないように
してください。
断線、発火の原因になることが
あります。



※形状が異なる場合がございます。

8 本体電源の取扱方法

電源のON/OFFの操作方法についてご案内いたします。

1. 車載用DCアダプターの使い方

本気は、お車のシガーソケット（DC12Vまたは24V）より付属アダプターを使用して、本体に5Vを供給し駆動します。

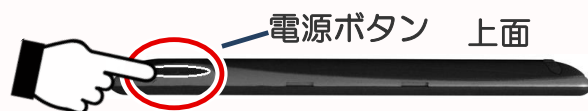
2. イグニッションキー連動電源ON/OFF機能について

本機は、電源の連動ON/OFF機能（オートスタート機能）を搭載しています。お車のシガーソケットに接続した場合、イグニッションキーのON/OFFで本体の電源も自動的にON/OFFができていへん便利です。

3. 電源の入れかた／切りかた

<電源を入れるとき>

- ①電源ボタンを長押しする。
（約3秒間押し続ける。）
- ②起動画面が表示されます。
- ③しばらくすると
設定メニューが表示されます。



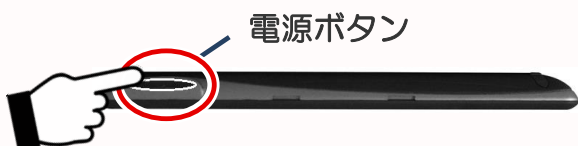
起動画面



設定メニュー

<電源を切るとき>

- ①電源ボタンを長押しする。
（約3秒間押し続ける。）
- ②終了画面が表示され、
約5秒後に自動的に切れます。
 - ・「電源オフ」を押すとすぐに電源が切れます。
 - ・「スタンバイ」を押すとスタンバイモードになり再度電源を入れるとき早く立ち上がります。
 - ・「キャンセル」を押すと元の画面に戻します。



スタンバイ

電源オフ

キャンセル

※スタンバイモードでは、微量の待機電力を消費します。
バッテリー使用時は再生時間が短くなります。

4. 充電のしかた

- ①車載用DCアダプターを接続します。（電源ランプが赤点灯）
- ②電源ボタンOFFにして充電を開始します。
- ③電源ランプが消えれば充電完了です。（フル充電時間約4時間）

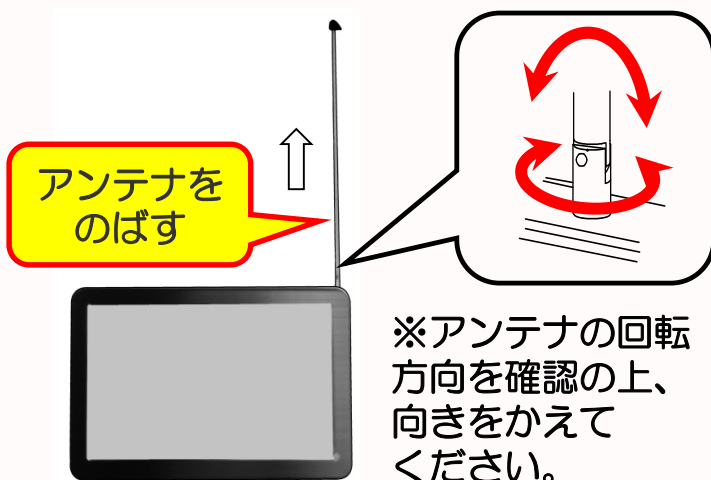
※充電残量が0になった場合、アダプターをつないでも電源が立ち上がらない場合があります。
その際は電源OFF状態で、充電を十分におこなってから電源をいれてください。

9 ワンセグTV

9-1 チャンネル設定（スキャン操作）

はじめてテレビをご覧になる前に、下記の方法でチャンネル設定を必ず行ってください。

①見晴らしの良く受信環境の良いところでアンテナをのばす。
アンテナは上部右側に収納されています。
引き出すときは、まっすぐにゆっくりと引き出して下さい。
しまうときも同様にまっすぐにゆっくりと押しこんで下さい。



<注意>

※無理にアンテナを動かしますと曲がったり折れたりします。

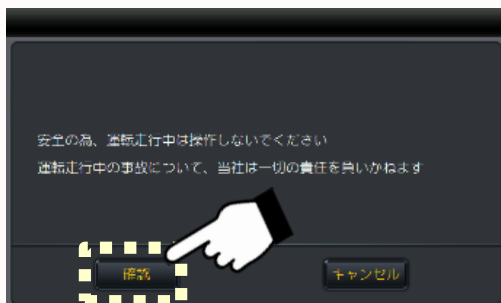
②「テレビ」をタッチ

メニュー画面から「テレビ」をタッチする。



③「確認」をタッチ

警告文が表示されますので内容を理解して、「確認」をタッチする。



④  をタッチ

お近くの受信可能な放送局を設定するためにスキャン操作を行います。

設定後は、地域が変わらなければこの操作は必要ありません。



⑤「地域」を選択

ご使用される地域を選択します。

(選択せずにスキャンもできますが、地域を選択するとスキャン時間が短くなります。)

※放送局がうまく取れない場合は、「ALL」を選んでスキャンしてください。

⑤-1 「地域」をタッチ



⑤-2 地域を選ぶ (例 関東をタッチ)



⑤-3 都道府県を選ぶ (例 東京をタッチ)



⑤-4 ご地域にある放送局を表示



※スキャン操作後に、実際に受信可能な放送局を表示されます。
(この時点では受信できない放送局も含まれる場合があります)

⑥「スキャン」操作

スキャン操作をすることにより、実際に受信可能な放送局をさがし設定します。

※スキャン操作をするときは必ず受信環境のよいところでおこなってください。

受信環境が悪いところでスキャンを行いますと放送局が設定されない場合があります。

⑥-1 「スキャン」をタッチ

受信可能な放送局を検索開始します。

⑥-2 「適用」をタッチ

スキャン完了後、適用を押すことにより放送局の設定ができます。



チャンネル
設定完了

スキャンが終わると
「スキャン完了」
が表示

お車等で長距離移動の場合、放送局のエリアが変わる為受信できなくなることがあります。
その際は、再度新しい地域での再スキャン、もしくはALLで再スキャンをおこなってください。

9-2 ワンセグTVをみる

①チャンネルをかえる

チャンネル変更矢印（▲、▼）をタッチしてお好みのチャンネルに変更します。

▲：チャンネル（－）

▼：チャンネル（＋）



②音量を調節する

・音量変更矢印（＋、－）をタッチしてお好みの音量に調整します。

＋：音量を上げる

－：音量を下げる

・  ボタンをタッチすると消音  になります。
(音はでません。)



9-3 ワンセグTVの各種設定

「  」をタッチすると、各種設定を変更できます。

＜設定内容＞

チャンネル：スキャン済みの放送局表示

基本設定：言語／音声チャンネル構成／音声スイッチ／字幕

ビデオ：画面のアスペクト比（画面の縦横比）の設定

情報：バージョン情報



9-3-1 設定「チャンネル」

「チャンネル」をタッチすると、受信放送局が表示されます。

チャンネル

戻る

放送局を設定する際は、
『9-1. チャンネル設定（スキャン操作）』（18ページ）
参照願います。

受信した放送局



9-3-2 設定「基本設定」

「基本設定」をタッチすると、
言語／音声チャンネル構成／音声スイッチ／字幕 の設定ができます。

設定の仕方

- ①設定項目の「▼」をタッチします。
- ②現れた選択項目から項目を選びタッチします。
- ③項目が切り替わりします。
- ④選択後、「適用」をタッチします。

＜＜ 言語 ＞＞

設定画面の言語の切替ができます。

日本語 ⇄ English

- ・日本語：設定画面が日本語で表示されます。
- ・English：設定画面が英語で表示されます。

＜＜ 音声チャンネル構成 ＞＞

番組プログラムに音声チャンネルがある場合のみ、切換えが可能です。

主音声 ⇄ 副音声 ⇄ 二重音声

＜＜ 音声スイッチ ＞＞

放送中の番組プログラムに音声スイッチがある場合のみ、表示が出て切換えが可能です。

オーディオ1 ⇄ オーディオ2

※放送番組により、「音声スイッチ」または「音声チャンネル構成」を変えることにより
二ヶ国語、副音声、ステレオ音声（ステレオイヤホン使用時）をご利用できます。
番組により音声切替方法が違いますので実際に確認の上おたのしみください。

チャンネル変更する時は、オーディオ1に戻してから切換えてください。
（電源OFF→ONやテレビ以外の設定に切換えた場合は自動的にオーディオ1に戻ります。）

＜＜ 字幕 ＞＞

字幕放送のときに字幕を表示します。

無効 ⇄ 日本語

- ・無効：字幕放送用の字幕が画面に字幕はでません。
- ・日本語：字幕放送用の字幕が画面に字幕が表示されます。

基本設定

戻る

言語

音声チャンネル構成

音声スイッチ

字幕



「▼」をタッチして
選択項目を表示する

9-3-3 設定「ビデオ」

「ビデオ」をタッチすると、画面のアスペクト比の設定ができます。

＜＜ アスペクト比 ＞＞

画面サイズの調整ができます。

画面サイズ調整 ⇄ レターボックス

- **画面サイズ調整**：レターボックス画像の上下の黒枠をなくした画像（上下をのばした画像）
- **レターボックス**：横長の画面を上下に黒枠が出た状態で表示されます。



9-3-4 設定「情報」

「情報」をタッチすると、バージョン情報が表示されます。



9-4 ワンセグTV (EPG番組表)

EPG (電子番組表) をみる

EPG (電子番組表) でその日の番組内容を確認できます。

- ① EPG (電子番組表)  をタッチします。
- ② 左の番組の中から詳細を知りたい番組の  をタッチすると、番組情報が表示されます。
- ③ 右の番組予定表をタッチするとその番組の情報が表示されます。



お好みチャンネル

普段よく見るチャンネルを「お好みチャンネル」(♡)に集めお楽しみいただけます。

- ① 「EPG (電子番組表)  」をタッチします。
- ② 右のチャンネルリストからお好みの放送局の右の「☆」をタッチすると「★」に変わって表示されます。
- ③ 「♡」ボタンをタッチすると、お好みのチャンネルのみ表記されます。



9-5 ワンセグTV（録画／再生）

※機種によりボタンのレイアウトが違う場合があります。

ワンセグTVを見ながらmicroSDカードに動画、静止画を撮ることができます。

ワンセグTVを録画／再生する

ご覧になっているテレビ番組を、micro SDカードに録画してお楽しみいただくことができます。

- ① 空のmicroSDカードをいれる。
- ② 録画したい時に「●」をタッチすると録画が開始します。
- ③ 終了するときは「■」をタッチします。
- ④ 再生するときは、「📁」をタッチし、録画したデータを選び「OK」をタッチする。（放送局名、録画日時がファイル名になります）

※設定の「メディア」の中の「動画」で再生はできません。
「テレビ」の「📁」からご覧ください。



ワンセグTVを静止画／再生する

ご覧になっているテレビ番組の静止画を、micro SDカードに撮ることができます。

撮りたい画面のときに「📷」をタッチする

- ① 空のmicro SDカードをいれる。
- ② 静止画を撮りたい時に「📷」をタッチする。
- ③ 再生するときは、
「メディア」⇒「写真」⇒SDMMC⇒Recorder⇒Snapshotをタッチし、
録画したデータを選び「OK」をタッチする。
（放送局名、録画日時がファイル名になります）



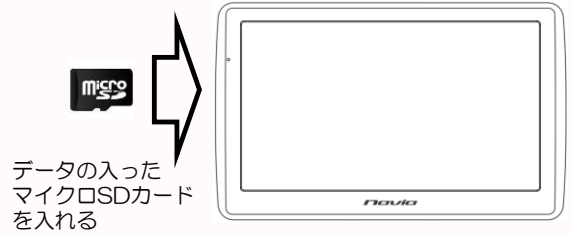
※「テレビ」の「📁」の中からは再生はできません。
「メディア」の「写真」からご覧ください。

10 メディア（動画、音楽、写真）

本メディア機能ではパソコンなどからマイクロSDカードにいった動画、音楽、写真をお楽しみいただけます。

①音楽などの入ったマイクロSDカードをいれる。

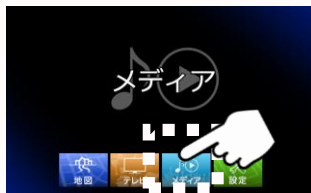
パソコンなどからお好みの動画、音楽、写真のデータを入れたマイクロSDカードを側面に入れる。



データの入った
マイクロSDカード
を入れる

②「メディア」機能にする

メインメニューから「メディア」アイコンをタッチしてお好みの動画、音楽、写真 お選びください。



メディアメニュー（選択画面）

③お好みのメディア内のソースを再生する。

下記のボタン操作に従ってお楽しみください。

動画の場合

	前の画面に戻る。		ビデオファイルリスト画面に戻る。
	一時停止/再生を切替える。		次の動画に進む。
	丸い音量調整ボタンの左右をタッチして音量を調整する。		丸い音量調整ボタンの左右をタッチして音量を調整する。

音楽の場合

	前の画面に戻る。		ミュージックファイルリスト画面に戻る。
	メディアメニュー画面に戻る。		丸い音量調整ボタンの左右をタッチして音量を調整する。
	前の曲に戻る。		次の曲に進む。
	一時停止/再生を切替える。		停止する。

写真の場合

	前の画面に戻る。		フォトファイルリスト画面に戻る。
	画面を拡大する。		画面を縮小する。
	一つ前の写真に戻る。		次の写真に進む。
	画面を右に90°回転する。 (約5秒経過後に写真が異なります)		写真画面を全面面にする。 (ダブルタッチで元画面に戻る)
	スライドショーにする。 (約5秒経過後に写真が異なります)		

※動画再生中に画面中央を2回タッチすると画面が大きくなります。
再度2回タッチすると元のサイズに戻ります。

動画、音楽、写真の再生可能な条件は下表のとおりです。

	再生可能データ フォーマット	ビットレート	解像度	フレームレート
音楽	MP3	320kbps	/	/
	WMA	64kbps	/	/
動画	MPG	1500kbps	320x240 以下	25fps
	AVI	1500kbps	480x272 以下	30fps
	WMV	1500kbps	480x272 以下	30fps
	ASF	285kbps	320x240 以下	25fps
写真	JPG、BMP	/	2560x1600 以下	/

※上記の条件であってもカードによっては、再生できない場合がございます。
その際は、カードを変えてご使用ください。

10-1 動画

パソコンなどからmicroSDカードに入れた動画(ビデオ)をお楽しみいただけます。

動画 を選ぶ

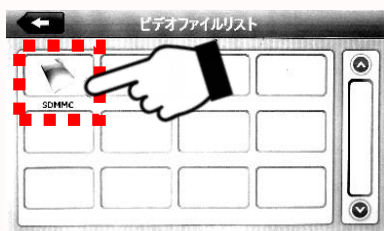
※動画の入ったmicroSDカードが入っていることを確認してください。

- ① メディアメニューから「動画」アイコンをタッチします。
- ② 「SDMMC」をタッチします。
(さらにホルダーがあるときは選び、動画を表示してください。)
- ③ お好みの動画を選んでタッチすると音楽が始まります。

メディアメニュー (選択画面)



「動画」をタッチ



「SDMMC」をタッチ



見たい「動画」を
タッチ

動画 をみる

操作画面で 動画 の再生の操作を行います。

	前の画面に戻る。		「動画ファイル一覧」画面に戻る。
	一時停止／再生を切替える。		次の動画に進む。
	丸い音量調整ボタンの左右をタッチして音量を調整する。		丸い音明るさ調整ボタンの左右をタッチして音明るさを調整する。



※本機で再生出来る動画のサイズは標準画質 (SD) までです。

高画質 (HD) には対応しておりません。

※動画データによっては本機で再生出来ないものもあります。

※microSDカードによっては、再生されないこともあります。

10-2 音楽

パソコンなどからmicroSDカードに入れた音楽をお楽しみいただけます。

音楽を選ぶ

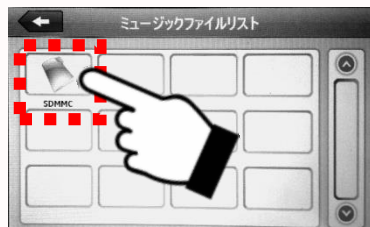
※音楽の入ったmicroSDカードが入っていることを確認してください。

1. メディアメニューから「ミュージック」をタッチします。
2. 「SDMMC」をタッチします。
(さらにホルダーがあるときは選び、音楽を表示してください。)
3. お好みの音楽を選んでタッチすると操作画面にかわり、音楽が始まります。

メディアメニュー（選択画面）



「音楽」をタッチ



「SDMMC」をタッチ



聞きたい「曲」をタッチ

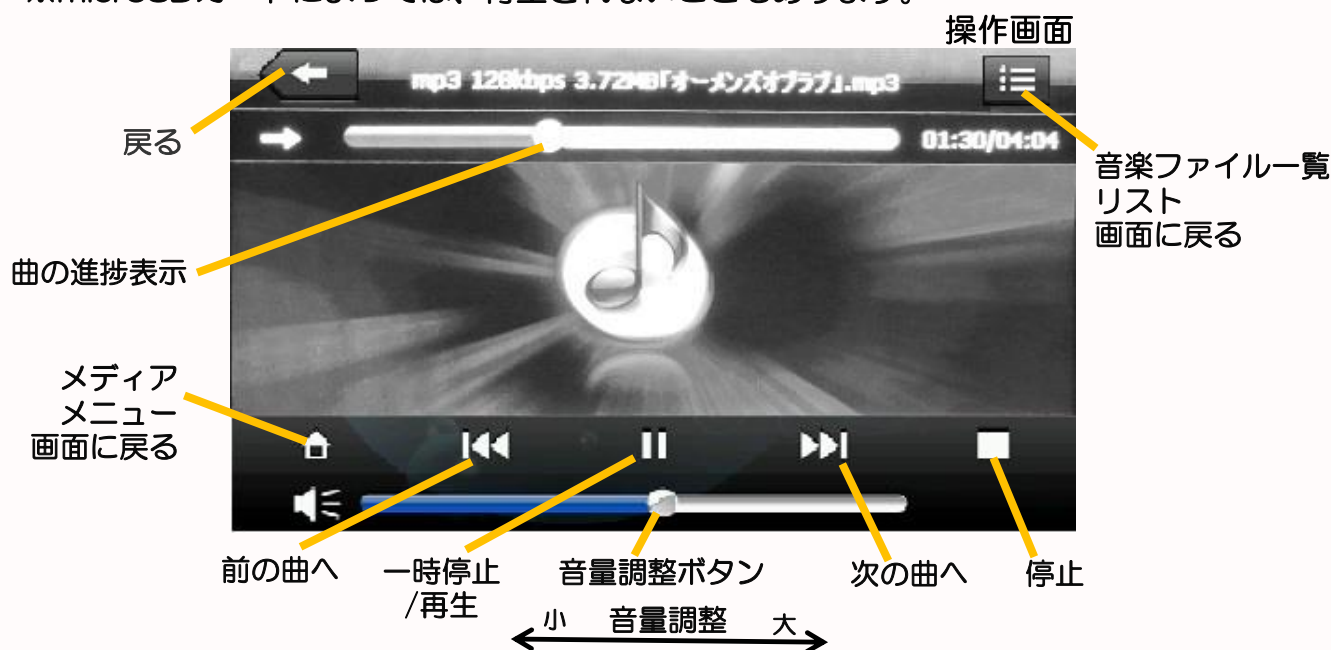
音楽を聴く

操作画面で曲の再生の操作を行います。

	前の画面に戻る。		「音楽ファイル一覧」画面に戻る。
	メディアメニュー画面に戻る。		丸い音量調整ボタンの左右をタッチして音量を調整する。
	前の曲に戻る。		次の曲に進む。
	一時停止／再生を切替える。		停止する。

※音楽データによっては本機で再生出来ないものもあります。

※microSDカードによっては、再生されないこともあります。



10-3 写真

パソコンなどからmicroSDカードに入れた「写真」をお楽しみいただけます。

写真を選ぶ

※写真の入ったmicroSDカードが入っていることを確認してください。

1. メディアメニューから「写真」をタッチします。
2. 「SDMMC」⇒「Photo」の順にタッチします。
(さらにホルダーがあるときは選び、写真を表示してください。)
3. お好みの写真を選んでタッチすると写真画像が表示。

メディアメニュー（選択画面）



「写真」をタッチ



「SDMMC」をタッチ



見たい「写真」を
タッチ

写真を見る

操作画面で 写真の画像操作を行います。

	前の画面に戻る。		「写真一覧」画面に戻る。
	画面を拡大する。		画面を縮小する。
	一つ前の写真に戻る。		次の写真に進む。
	画面を右に90° 回転する。		写真画像を全画面表示にする。 (ダブルタッチで元画面に戻る)
	スライドショーにする。 (約5秒起きに写真が変わります)		

戻る



写真一覧
画面に戻る

拡大

縮小

右90° 回転

全画面表示

スライドショー

戻る

進む

11 設定

メインメニューから「設定」アイコンをタッチします。
各メニューのアイコンをタッチして各種の設定ができます。

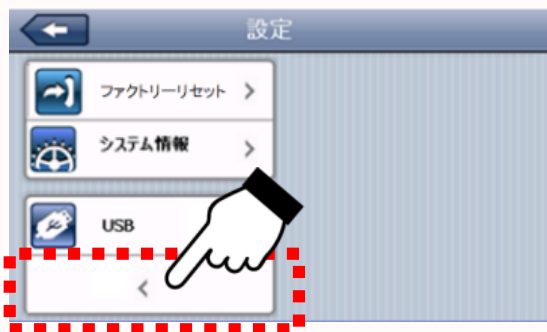


「 > 」をタッチにより次の画面に移ります。

「 < 」で元の画面にかわります。



設定のメニュー画面(1ページ目)



設定のメニュー画面(2ページ目)

11-1 ボリューム 設定

ボリューム設定で音量やタッチ音の調整ができます。

1. 「設定」内の「ボリューム」をタッチする。
2. ボリュームの「< >」をタッチして音量を調節する。
3. スクリーンタッチ音の「< >」をタッチしてタッチ音を調整する。
(OFF/小/大)

1. 「ボリューム」をタッチ



設定のメニュー画面(1ページ目)

2.3. 「< >」で調整



ボリューム設定の画面

11-2 バックライト 設定

バックライト設定で画面の明るさ、パワーセーブモードの設定ができます。
※パワーセーブモード：設定時間後に画面が暗くなり、バッテリーの消耗を減らします。
バッテリー駆動時のみ動作します。

1. 「設定」内の「バックライト」をタッチする。
2. バックライトの「 」をタッチして明るさを調節する。
3. パワーセーブモードの「 」をタッチしてパワーセーブモードに入る時間を調整する。

(常にON／10秒後にOFF／20秒後にOFF／30秒後にOFF／1分後にOFF／10分後にOFF)

1. 「バックライト」をタッチ



設定のメニュー画面(1ページ目)

2.3. 「 」で調整



バックライト設定の画面

11-3 日付・時間 設定

日付.時間の設定メニューで西暦、日付、時間、時間および地域の設定ができます。

1. 「設定」内の「日付.時間」をタッチする。
2. 現在の西暦、付き、日、時間、分を「▲ ▼」のタッチで設定する。
3. 地域の「 」をタッチして「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」に設定する。

1. 「日付. 時間」をタッチ



設定のメニュー画面(1ページ目)

2. 現在時刻に設定



日付.時間設定の画面

3. 地域を選択

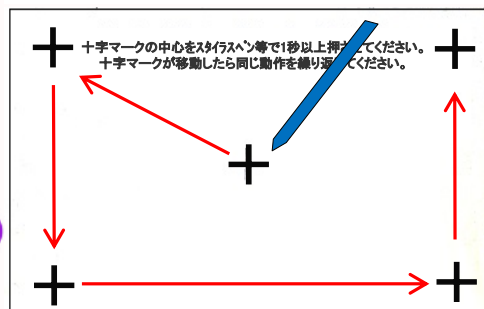
※日付. 時間に関しては、ナビのGPS受信により自動設定されます。

11-4 画面補正 設定

画面補正の設定で画面をタッチして位置の補正を行います。

1. 「設定」内の「画面補正」をタッチする。
2. 実行の確認の画面で「はい」をタッチする。
3. 下記の通りに画面に従ってタッチ位置を補正する。
 - ①画面の中央にある「+」の中心をスタイラスペンなどでタッチしてください。
その際「+」が動くまでタッチし続けてください。（1秒以上）
「+」が左上に移動します。移動したらタッチを離して下さい。
 - ②次に左上に移動した「+」の中心をタッチし続けてください。
左下に移動したらタッチを離してください。
 - ③同様に続けてください。「+」は
中央→左上→左下→右下→右上
の順で移動し終了します。
 - ④最後に画面をタッチします。

3. 「+」を長押し 移動後、
次の「+」を再度長押し



1. 「画面補正」をタッチ



設定のメニュー画面(1ページ目)

2. 「はい」をタッチ



※この画面（白画面）が表示された時は上記操作を行ってください。

11-5 GPS情報

「GPS情報」からGPSの受信状況が確認できます。

1. 「設定」内の「GPS情報」をタッチする。
2. GPSからの情報を確認することができます。

ナビゲーションとは、4個以上のGPS衛星からの電波を受信して現在地を測位し、地図上に目的地までの距離や時間や方向を表示して案内する機能です。
GPS衛星の受信状況を確認するためにこの機能を使い、GPS衛星の情報を表示します。

＜＜注意＞＞

- ①GPSは、出来るだけ衛星から垂直に電波を受けやすいようにセットしてください。
- ②測位する場所は、衛星からの電波をさえぎるような高い建物や木々などがなく上空の視界が開けた、見晴らしの良いところで行ってください。
- ③初めて測位するときや前回測位した場所から300km以上離れている場合は、コールドスタートとなり数十分時間がかかる場合があります。
(一度受信しましたらその後はウォームスタートとなり受信は速くなります)

1. 「GPS情報」をタッチ



設定のメニュー画面(2ページ目)

2. 「←」をタッチ



11-6 ナビ 設定

ナビゲーションを動作させるための設定です。
(この機能は通常は使用しません)

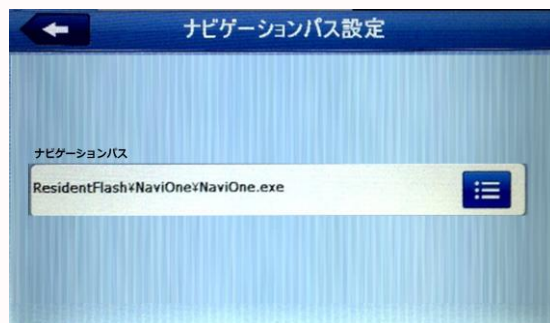
＜ナビ設定方法＞

1. 「ナビ設定」をタッチしナビゲーションパス設定画面にする。
2. 「☰」とタッチし、その中のホルダー「ResidentFlash」「NaviOne」を順にタッチして「NaviOne.exe」が表示したことを確認して「OK」をタッチする。
3. 「←」をタッチして元の画面に戻る。

1. 「ナビパス設定」をタッチ



設定のメニュー画面(1ページ目)



「ナビ」設定は工場出荷時に設定済みですが、初期化(25ページ「初期化設定」)を行うと、ナビパス設定も初期化されることがあります。ナビが立ち上がらない場合は、上記設定をしてください。

11-7 言語 設定

設定メニューの言語を日本語／英語に切替えることができます。
※ナビゲーションのメニューは日本語のみです。

1. 「設定」内の「言語」をタッチする。
2. 「←」「→」をタッチし言語設定を選ぶ。(初期設定は日本語です。)

1. 「言語」をタッチ



設定のメニュー画面(1ページ目)

2. 言語を選ぶ



11-8 ファクトリーリセット 設定

設定を工場出荷時の状態に初期化します。

1. 「設定」内の「ファクトリーリセット」をタッチする。
2. 「はい」をタッチすると初期化します。

1. 「ファクトリーリセット」をタッチ



設定のメニュー画面(2ページ目)

2. 「はい」をタッチ



※「ファクトリーリセット」をすると「ナビ設定」も初期化される場合がありますのでその場合は24ページの「ナビゲーションパス設定方法」にしたがって設定を行ってください。

11-9 システム 設定

本製品のシステムリソースの確認する機能です。

1. 「設定」内の「システム情報」をタッチする。
2. システム情報が表示されます。

※この機能は、製造上の管理に使用するための機能で、お客様のご使用には関係ございません。

1. 「システム情報」をタッチ



設定のメニュー画面(2ページ目)



システム情報

11-10 USB 設定

USB接続設定を確認する機能です。

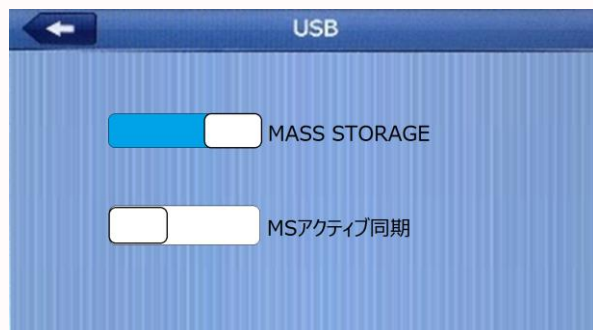
1. 「設定」内の「USB」をタッチする。
2. 「MASS STORAGE」となっていることを確認します。

この機能は、製造工程で使用する機能でお客様のご使用には関係ございません。
※工場出荷時に、「MASS STORAGE」に設定されております。
「MS アクティブ同期」には設定をしないでください。

1. 「USB」をタッチ



2. 「MASS STORAGE」に設定



設定のメニュー画面(2ページ目)

12 ソフトウェア仕様

地図部門	全国道路地図	住友電工システムソリューション(株)製 最新全国拡張道路地図搭載(2016年度リリース)
	昼夜画面切り替え	○(昼:夜手動/自動切替)
	縮尺切り替え	○12段階(25m~100Km)
	ルート検索機能	おすすめ・高速道路優先・一般道路優先 ・距離優先・複数ルート表示
	リルート機能	○(自動・手動)
	トンネルアシスト	○(ナビ走行時)
	スカイモード	○(4モード)
	右左折案内	○(大文字右左折表示)
	一方通行表示	○(地図尺度50m以下)
	到着予想時刻表示	○
	目的地までの距離表示	○
	オービス情報	○(音声警告・位置文字表示)
	高速道路表示	○(前後IC表示・スクロール機能付)
	高速入口CG画素数	○
	ウォーキング表示	○
	地図表記言語	日本語
	ノースアップ/ヘッドアップ切替	○(北方向上/自車方向上)切替
	スマートインターチェンジ対応	○
	アプローチチャイム機能	○
	デモ走行機能	○
検索	電話番号検索	1000万件(企業)
	住所検索	3600万件
	施設名検索	50万件
	周辺施設検索	50万件
	コンビニ・GS優先表示	○
登録機能	検索地点履歴	100ヶ所
	地点登録	1200ヶ所
	自宅登録	○

※本機のデザイン・仕様は予告なく変更する場合がございます。

※地図情報に関しては、全ての情報は網羅されていない場合があります。

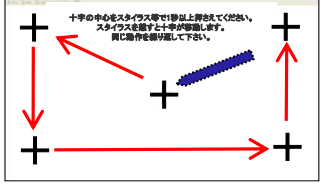
13 ハードウェア仕様

ディスプレイ	7インチ液晶：TFT（バックライト：LED）
液晶解像度	800×480ピクセル
視野角（上下左右）	上30° 下15° 左右30°
CPU	MSB2531 ARM Cortex-A7 800MHz
内蔵メモリー	128MB（DDR SDRAM） Flash：4GB
OS	WindowsCE6.0
スピーカー	8Ω 1.5W×1
イヤホン端子	Φ3.5mmステレオミニジャック
マイクロSDカードスロット	1スロット（メディア用） 16GB以下
再生動画フォーマット	ASF/AVI/WMV
再生音楽フォーマット	MP3/WMA
再生画像フォーマット	JPG/BMP
TV受信	ワンセグTV対応
ワンセグ録画機能	録画機能
エンジンON/OFF連動	○
電源電圧	DC5V（miniUSBタイプ入力端子）
内蔵バッテリー タイプ	リチウムポリマー
容量（mAh）/電圧（V）	1600mAh/3.7V
駆動時間/充電時間	約1時間（ナビ使用時）/約4時間 ※使用環境により変わります。
外形寸法	約182×約112×約14 [mm]
質量	約270 [g]
動作温度範囲	0℃～45℃
保存温度範囲	-10℃～60℃
付 属 品	・車載用DCアダプター（入力：DC12-24V） ・車載用吸盤スタンド一式 ・吸盤ベース板 ・サンバイザー ・スタイラスペン（車載用吸盤スタンド一式） ・かんたん操作マニュアル&注意書（保証書付き）

※本機のデザイン・仕様は予告なく変更する場合がございます。

14 困った時には

修理を依頼する前に、以下のことを確かめてください。

●電源・バッテリーについて	電源が入らない。	バッテリー残量が少ない可能性があります。十分充電してください。(充電中はランプが点灯します。)
	バッテリーの持続時間が短い。	バッテリーの寿命の可能性があります。サポートセンターにご相談ください。
●本体について	画面が暗くて見えない。	設定で暗くなっている可能性があります。明るさを調整してください。
	画面が消える／映らない。	自動OFF設定が設定されている可能性があります。設定を解除してください。 設定→バックライト設定→自動OFF設定を「常にON」にする。
	タッチパネルの反応が悪い。ボタンが押せない。	- 保護フィルムをはがしてください。 - タッチポイントの位置がずれている可能性があります。設定の画面補正で修正してください。
	画面が真っ白になる。(画面補正の画面になる)	※画面補正画面の指示に従い「+」をタッチし続けてください。 (「+」を長押しして、移動したら次の「+」を長押しします。) 
	音が出ない。	音量ボリュームを確認してください。
	テレビが受信できない。	アンテナを伸ばして下さい。 受信環境の良いところに移動してください。 スキャンを行い受信可能な放送局を設定してください。
●GPS受信について	電源を入れた時、GPSの受信ができない。	初めて使用する時や長時間使用していない時は、コールドスタートとなり、受信に時間がかかります。屋外の空の開けた場所で受信できるまで待ってください。
	電源OFFのまま長距離移動後GPSを受信しにくい。	GPSの情報を再設定するため受信に時間がかかります。一度受信しましたらその後は早く受信できます。
	GPS感度が悪く自車位置が捕らえにくい。	本体の取付け位置を電波の入りやすい位置に移動してみてください。
	GPSを受信できない。	受信しやすい位置に移動して設置ください。
●ソフト動作について	動作エラーが発生する。	リセットを行うか電源を入れ直してください。
	動作が停止又は不安定。	リセットを行うか電源を入れ直してください。
	正しい時刻が表示されない。	- メインメニューの設定で、時刻設定を行ってください。 - GPSを受信してください。

15 お問い合わせ先

※電話番号のかけ間違いの無いように十分ご注意ください。

機器に関する問い合わせ

株式会社 カイホウジャパン サポートセンター

E-MAIL : Info@kaihou.com

電話 : 042-631-5357

FAX : 042-631-5359

営業時間 : 平日10:00~17:00

(土日祝祭日は休み)

地図情報、地図更新、ナビ操作に関する問い合わせ

ナビゲーション地図サポート

サポートページ : <http://www.mapnet.co.jp/kaihou>

E-MAIL : mapque@mapnet.co.jp

電話 : 03-3516-6080

FAX : 03-3516-6387

営業時間 : 平日10:00~17:00

(土日祝祭日は休み)

発 売 元

株式会社 カイホウジャパン

〒192-0906

東京都八王子市北野町 598-11



カイホウジャパンホームページ <http://www.kaihou.com> /

フィンチワンセグ付 ポータブルナビゲーション

TNK-718D T用

取扱説明書

ナビゲーション操作説明書

Ver 1.0.0

※製品本体の基本操作については、
別冊「本体操作説明書」をご覧ください。



- この度は、フィンチポータブルナビゲーションをお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。
- ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく理解されてからお使いください。
- お読みになった後は、本書をいつでも見られる所に大切に保管してください。

目 次

1. はじめに	-----	1
2. 安全上のご注意	-----	2
3. ナビゲーションの使い方	-----	3
3-1. ナビゲーションの起動と終了	-----	4
3-2. 地図画面の説明	-----	5
3-3. 現在地の表示	-----	6
3-4. 受信状況の確認	-----	7
3-5. 地図画面の操作	-----	8
3-6. 地図画面から他の画面への移動	-----	11
3-7. ナビ走行	-----	12
3-8. ルート検索	-----	15
3-9. デモ走行	-----	16
3-10. ナビ走行中の画面	-----	19
3-11. 周辺施設検索	-----	22
3-12. 地点登録	-----	23
3-13. 自宅登録・自宅へ戻る	-----	25
3-14. ナビメニュー	-----	27
3-15. 検索モード	-----	28
3-15-1. 住所検索	-----	29
3-15-2. 施設検索	-----	31
3-15-3. 電話番号／マップコード検索	-----	33
3-15-4. 登録地点	-----	35
3-15-5. 目的地履歴	-----	38
3-16. おでかけモード	-----	39
3-17. 設定	-----	41
3-18. 入力パネルの使い方	-----	44
3-19. ウォーキングナビ	-----	45
3-20. よくある質問	-----	48
4. 制限事項	-----	49
5. GPSの基礎知識	-----	50
6. お問い合わせ先	-----	51
7. 地図データ3年間更新無料 について	-----	52

1 はじめに

この度は、当社ナビゲーションをお買い求めいただき誠にありがとうございます。
快適にご使用していただくために下記説明を補足いたします。ご一読いただき
正しくお使いください。

本書の画像写真やイラストは説明のため、実物と異なる場合がありますが、
ご了承ください。

GPSナビゲーションとは

本機に搭載されておりますGPSによるナビゲーションシステムは、
衛星よりの位置情報を捕捉することで目的地までのナビゲーションを行う
システムです。

従いまして、GPSナビゲーションは車速やジャイロを使用して自車位置と
目的地までの到着ルート算出するナビゲーションとは仕様が異なります
のでその特性をご理解の上、ご使用下さいますようお願い致します。

<<GPSナビゲーションの特性>>

①天候・道路環境・建物環境などによっては、正確なルート表示・案内が
行われな場合があります。

②設定されたルート通りの走行を行わなかった場合などリルート機能により
頻繁に目的地までの再計算を行います。場合によっては搭載されているCPU
に負荷が掛かりフリーズする場合があります。この場合は本機のリセット
ボタンを使用することで復元されます。トンネル内や道路事情・建物環境に
よってGPSが衛星を捕捉する条件が悪化した場合にはこれらの環境が改善
された場合でも正しい動作をしない場合がありますのでご了承ください。

③電源をOFFする際、スリープモードと電源OFF（完全に電源を切る）
モードがあります。スリープモードの場合、ナビのデータを記憶している
ため時々CPUに負荷がかかる場合があります。この場合は本機のリセット
ボタンを押してください。

④電源投入後しばらくの間は現在地の測位を行いますのでルート設定出来
ない場合があります。目安は本機の画面上に現在時間が表示されますと
測位完了しております。ルート設定や各種機能进行操作される場合は建物障害
の無い安全な場所に停車して行ってください。運転中の操作は絶対に
おやめください。

⑤はじめてお使いのときや前回使用したときから遠く離れたのち電源を
入れたとき、GPS衛星からの位置情報が大きく変わりデータ量が多くなる
ため、数十分時間がかかる場合があります。（コールドスタートと
呼びます。）いったん受信完了し測位出来ましたらその後は、GPSからの
受信は速くなります。

2. 安全上のご注意

●ご使用の注意

- ・歩行中や乗り物を運転しながらの使用時は周囲の安全を十分注意し直視しないでください。
- ・ルート案内中でも、常に実際の交通規則、道路状況に従ってください。
- ・一方通行表示についても実際の交通規制標識・標示などを優先してください。

●その他のご注意

- ・GPS電波が受信できない場所（建物の中、地下、見晴らしの悪い場所等）ではナビゲーション機能は利用できません。また悪天候、車内の無線機器フロントガラス反射材などによる障害により利用できない場合もあります。
- ・GPS衛星は、米国国防総省により運用されていますが、GPS衛星の精度低下や故障によって不都合が生じる場合があります。
- ・サージ電流からの保護のためにエンジン始動後にカー電源を接続することをお勧めします。
- ・液晶画面は、傷つきやすい硬いものでタッチしないでください。
- ・初回の充電は電源OFFにして充電し、高温、高湿度の場所での充電は行なわないでください。また、電池保護のため長時間使用しない場合でも2週間に1度など定期的な充電をお勧めします。
- ・地図や検索で使われる情報は、その正確性、最新性について現状と異なる場合がありますのでご注意ください。
- ・本機を廃棄される際は、お客様が登録したデータが流出する可能性があります。登録内容を完全に消去してから廃棄されることをお勧めします。

●免責事項

- ・本製品の提供するすべての情報について、その正確性、有用性、最新性、適切性など何ら法的保障をするものではありません。
- ・お客様または第三者が本製品を利用、また使用不能によって生じた損失、損害には一切責任を負いかねます。
- ・お客様または第三者による本製品を利用しての事故や業務上の損害、お客様が入力したデータの消失による損害も保障いたしません。

●最新地図搭載

本製品は、完成予定も含め最新道路地図をもとに作成していますが、まれに実際の道路と違う場合があります。実際の道路にしたがって安全に走行してください。

ナビプログラムや取扱説明書、パッケージ等は予告無く変更する場合があります。予めご了承ください。

また、説明上、画像が実物と異なる場合がありますがご了承ください。

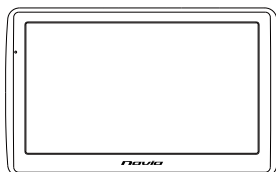
3. ナビゲーションの使い方

本製品のナビゲーション地図ソフトは内蔵メモリーに搭載されております。
電源ボタンがONされていることを確認して、メインメニューから
「ナビゲーション」ボタンを画面タッチします。

①本体の電源ジャックに、車載用DCアダプターのプラグを接続します。

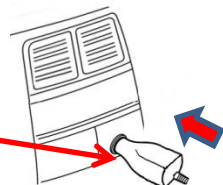
車載用DCアダプター
の端子をさす。

電源用端子
(miniUSBタイプ)

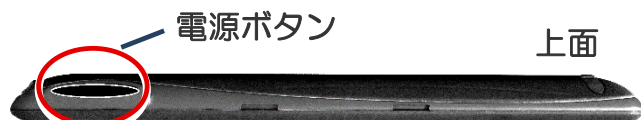


車載用DCアダプターを
車のシガーソケットにさす。

DC電源アダプター



②電源ボタンを軽く長押しすると、
電源が入ります。
電源を切る時は再度電源ボタンを
長押しします。



③操作は、各メニューを画面タッチすることにより動作します。

(注意) ダブルタッチを頻繁に繰り返しますと、CPUに負荷がかかり
システムエラーが発生する場合があります。
(システムエラーからの回復は、本体のリセットボタンで行ってください)

＜＜ナビゲーションのご使用の前に＞＞

ご使用の前に、GPS衛星からの情報を受信できることをご確認ください。

屋外の上空の開けた場所で、現在地を表示するまでお待ちください。
初めて使用する時や前回使用した場所から離れている場合、数十分かかる
場合があります。

～受信状況確認する場合～

一度ナビを終了して「設定」→「>」にて次ページ→「GPS情報」をタッチすると受信状況が
確認できます。(本体取扱説明書の「GPS情報」参照ください。)

設定の次のページ



ナビプログラムやマニュアル、パッケージ等は予告無く変更する場合があります。
また、説明上、画像が実物と異なる場合がありますがご了承願います。

3-1 . ナビゲーションの起動と終了

ナビゲーションの起動と終了の方法を解説します。

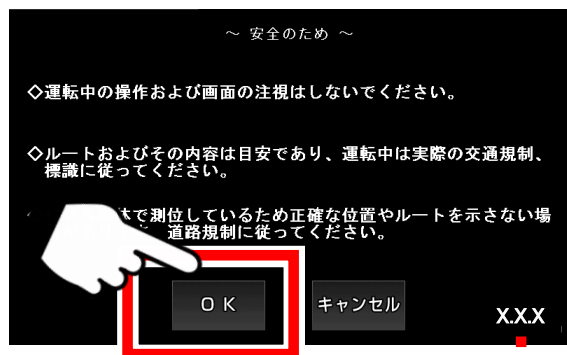
●ナビゲーションの起動

① メインメニューの「地図」ボタンをタッチします。



ナビゲーションの起動ボタン

② 注意事項が記載された画面が表示されますので内容をよくお読みになり、「OK」ボタンをタッチすると地図画面が表示されます。



OKボタン

バージョン番号



地図画面表示

●ナビゲーションの終了

① 地図画面の左下の「MENU」ボタンをタッチしメニュー画面を表示します。

② メニューの右下の「終了」ボタンをタッチすると、メインメニューに戻りナビゲーション機能は終了します。



MENUボタン



終了ボタン



メインメニュー画面

3-2. 地図画面の説明

地図画面の各機能と見方を解説します。

●地図画面の各ボタンの名称

下記マークが表示されていない場合は画面のどこかをタッチしてください。



●地図の中心マークの違いについて

：十字あり緑色のマーク。GPSを受信してない状態です。

：十字なし赤色のマーク。GPSを受信中です。
地図が現在地を表示していないときは、衛星を捕捉中です。
しばらく待つと、地図が現在地に移動します。

：自車のマーク。GPSを受信中で、方向も取得出来ている状態。
設定モードから矢印マークを変更することが出来ます。

<<傾斜状態 表示>>

走行中の道路の傾斜状態の目安を地図上に表示します。

- ・走行中の道路が上り坂状態
- ・走行中の道路が水平状態
- ・走行中の道路が下り坂状態



※本機能はGPS衛星からの位置情報を基に計算をしています。

3秒前のGPSの高度情報と比較し、上り・下り・平坦の3パターンで表示します。

天気、周囲の建物等の受信環境、GPS衛星の位置等により数値が変わることがあり実際の情報とは異なる場合があります。走行中の目安としてご利用ください。
トンネル走行時などのGPSが受信できない場合やデモ走行時は、機能しません。

<<トンネルアシスト機能>>

トンネルに入ってGPSが受信できなくなったとき、トンネル進入時の速度を保った状態で、自車の位置が移動し続けます。

ナビ走行中に限って動作する機能で、作動中は本来の位置ではないため、自車のマークの色を変更して区別しています。(矢印→グレー、それ以外→水色)

3-3 . 現在地の表示

GPSを有効（衛星を捕捉）にして、現在地を表示する方法を解説します。

- ① 地図画面の左下の「現在地」ボタンをタッチします。



現在地 現在地ボタン

現在地の表示は、必ず屋外の見晴らしの良い場所で行ってください。
室内ですと、GPSの電波を受信出来ません。

- ② 衛星の捕捉が始まります。



衛星の捕捉中を示す画面が中央に現れます。この状態でしばらく待ちますと、現在地へ地図が移動します。

「中止」ボタンをタッチすると、衛星の捕捉を中止します。

- ③ 衛星が捕捉されると現在地へ地図が移動します。



（注）現在地の表示は、お買い上げ時、または長時間使用していなかった時に行いますと、数分かかる場合があります。
通常使用時でもGPSの電波の受信状況により、数分かかる場合もあります。
予めご了承下さい。

●時刻合わせについて

時刻はGPSの電波に含まれている時刻を受信したとき「衛星配置図」の中に表示されます。お客様自身で、時刻を合わせる必要はありません。

3-4 . 受信状況の確認

GPS受信状況と衛星配置図の表示方法を解説します。

●地図画面の衛星配置図でGPSの受信状況を確認

(注)「衛星配置図」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので、一度タッチすると現れます。



実際の状況が反映されて表示されるまで、多少のタイムラグがあります。

●「衛星配置図」 ボタンをタッチして衛星配置図を確認



黄色や赤色のマークが少ないときは、GPSの受信状況がよくないことを表しています。受信する場所を変えるなどしてみてください。

「現在地」ボタンか、「戻る」ボタンで、地図画面へ戻ります。

衛星マークの色

衛星受信状況

黄色

○

赤色

△

灰色

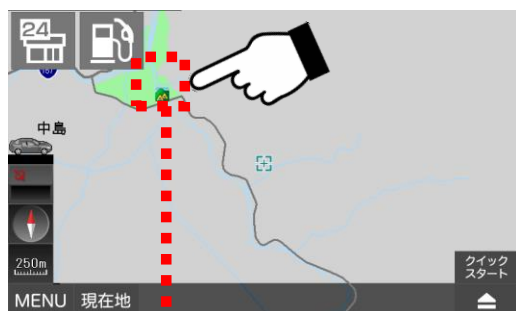
× (衛星の位置情報のみ受信)

3-5. 地図画面の操作

地図の移動、拡大縮小、ビュー変更の方法を解説します。

●地図の移動

地図の上をタッチすると、タッチした場所が中心になるように地図が移動します。



ここをタッチ



タッチした場所が中心にきます

(注) タッチパネル上で指で滑らせて、地図移動する形式ではありません。

●地図の拡大縮小

① 地図画面の左の「縮尺変更」ボタンをタッチします。

(注) 「縮尺変更」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので、一度タッチすると現れます。



「縮尺変更」ボタン

中の数字は現在の尺度を表しています。

② 縮尺パネルから表示したい縮尺をタッチします。



縮尺パネルは一定時間経つと、自動的に隠れます。

●地図表示の変更

地図の表示方法を「平面（２種類）」、「立体」表示に切り替えます。

（注）「地図表示変更」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので、一度タッチすると現れます。

「地図表示変更」ボタンをタッチする毎、地図の表示が切り替わります。



平面（ヘッドアップ）

自車の進行方向が上に固定され、地図が回転します。赤い針が指す方向が北。



平面（ノースアップ）

地図の北方向が上に固定され、自車が回転します。



立体

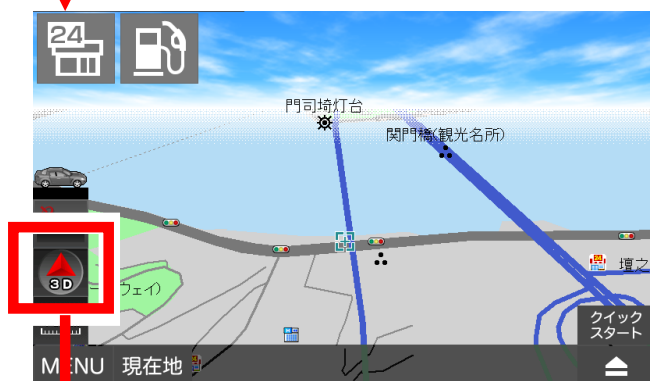
平面（ヘッドアップ）の立体表示です。空から見下ろしたように見える3D的な地図表示。



平面（ヘッドアップ）



平面（ノースアップ）



立体

平面（ヘッドアップ）表示へ戻る

●ガソリンスタンドの表示

「ガソリンスタンド表示」ボタンをタッチすると、地図上にガソリンスタンドのアイコンが全て表示されます。（基本設定のアイコン量の「多／普／少」の設定にかかわらず全てのアイコンが表示されます。）

（注）「ガソリンスタンド表示」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので、一度タッチすると現れます。



「ガソリンスタンド表示」ボタン



●コンビニの表示

「コンビニ表示」ボタンをタッチすると、地図上にコンビニのアイコンが全て表示されます。（基本設定のアイコン量の「多／普／少」の設定にかかわらず全てのアイコンが表示されます。）

（注）「コンビニ表示」ボタンが隠れているときは、地図上をどこでもいいので、一度タッチすると現れます。



「コンビニ表示」ボタン



（注）「ガソリンスタンド表示」ボタンと「コンビニ表示」ボタンは、縮尺が「2.5km」以上のときは表示されません。（ガソリンスタンド、コンビニのデータは地図作成時のものです。）

3-6. 地図画面から他の画面への移動

地図画面からナビメニュー画面へ移動する方法を解説します。

●ナビメニュー画面へ移動する

地図画面の左下の「MENU」ボタンをタッチすると、ナビメニュー画面へ移動します。



地図画面



ナビメニュー画面

(注) 地図画面の道路が途切れている場合について

地図を縮小していくと、画面に表示するエリアが大きくなり、情報量が増加していきます。それによって処理が遅くなることを防ぐ為に、地図上に表示する情報量を減らすことで、対応しています。

地図上で、道路が途中でなくなっている場合、実際にはその先も道路は存在しており、地図を拡大していくことで表示されます。



縮尺250m



縮尺100m

3-7. ナビ走行

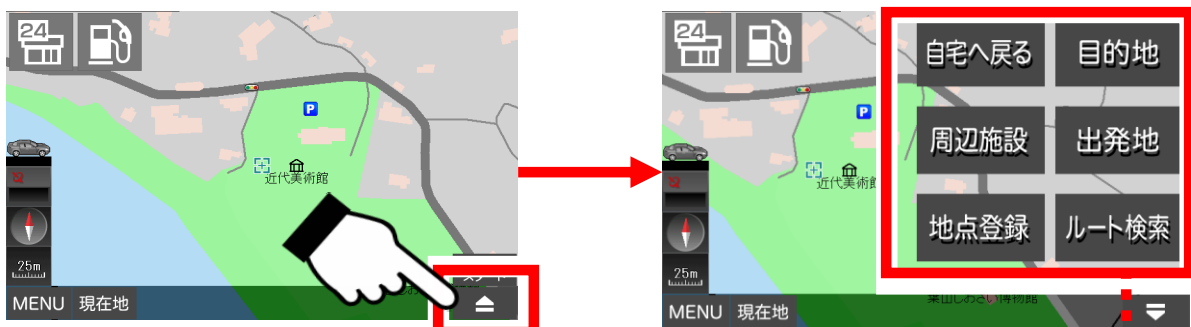
実際にナビを行う方法を解説します。

① 地図を移動して行きたい場所を中心にしします。



行きたい場所を表示するには、地図をタッチして移動して表示させる他に、ナビメニューにある検索機能や登録地点、履歴からも可能です。

② 右下のボタンをタッチして「ナビ用パネル」を表示します。



ナビ用パネル

③ 「ナビ用パネル」の「目的地」ボタンをタッチします。



ゴールの旗

ルート検索パネル

行きたい場所が目的地として設定されてゴールの旗が立ち、ルート検索パネルが表示されます。



④ ルート検索パネルの「ナビ走行」にタッチし、チェックを付けてルートの種類を選んでタッチします。



ルートの種類を選択



(注) 目的地を設定済みならば、ナビ用パネル「ルート検索」ボタンをタッチすればルート検索パネル画面になります。

●ルート検索パネルについて

推奨ルート	複数ルート
一般道路優先	高速道路優先
最短距離	ウォーキング
☒ ナビ走行	☒ デモ走行

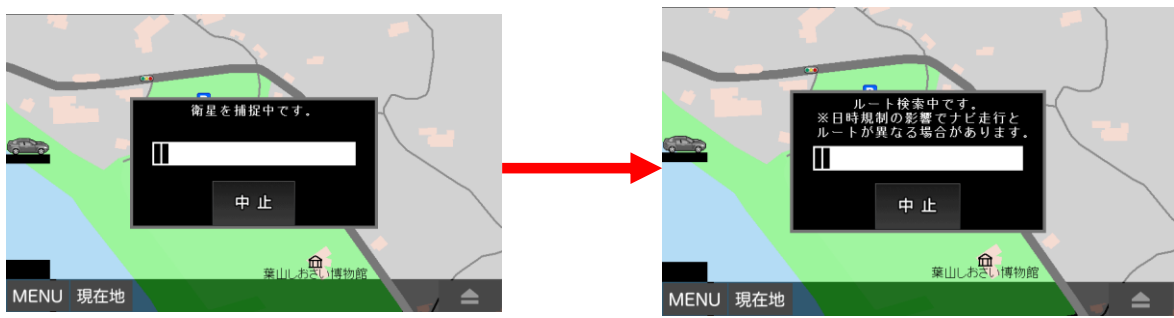
ルートの種類

..... 実際の「ナビ走行」か、
テストの「デモ走行」か選択

【ルートの種類について】

- ・推奨ルート ：ナビが自動的に最適なルートを選択します。
- ・一般道路優先：有料道路を避けて、一般道路を優先したルートを選択します。ただし目的地までの道のりが長距離のときは、有料道路を使う場合があります。
- ・高速道路優先：有料道路を優先したルートを選択します。
- ・最短距離 ：道路の大小に関わらず、目的地までの最短距離のルートを選択します。
- ・複数ルート ：一般道路優先、高速道路優先、最短距離のルートを一度に表示します。
- ・ウォーキング：徒歩走行にあったルートを選択します。このとき音声ガイドは流れませんので、ご注意ください。

⑤ ルートの種類を選択すると現在地から目的地までのルート検索が始まります。



現在地が分かっているときは、衛星の捕捉が始まります。そこで現在地が確定した段階で、ルート検索へ進みます。多少の時間がかかります。

⑥ ルートが表示されたら「案内開始」ボタンをタッチします。あとは、ナビに従って走行します。



ルート（水色）
ルートの距離と所要時間（あくまで目安とお考え下さい）

●ルートの距離と所要時間

走行速度を設定して計算し直す機能はありません。
道路の道幅・制限速度・交差点数などを考慮して、目安として計算していますので、実際とは異なる場合がございます。予めご了承ください。

●ナビ走行の中止

ナビ中止
ナビ走行中、左下の「現在地」ボタンが「ナビ中止」ボタンに変わります。これをタッチすることで、ナビ走行を中止することができます。

●クイックスタート

クイックスタート
右下の「クイックスタート」ボタンをタッチすると、現在の地図の中心地が目的地に設定されて、ルート検索パネル画面が表示されます。

3-8. ルート検索

複数ルートとルート検索時の注意点について解説します。

●複数ルートについて

複数ルートを選ぶと、高速道路優先、一般道路優先、最短距離の3つのルートが合わせて表示します。

左上のボタンをタッチして、好みのルートを選んでください。ルートによっては、3つのルートが同じものになる場合もあります。

ルート選択



●ルート検索について

※ルート検索に失敗した場合は、現在地を表示できるか確認して下さい。
それでも失敗する場合は、目的地をずらして再度、ルート検索を行ってください。

※ナビ走行では、細街路はルート検索に含まれません。
目的地が細街路にある場合は、目的地から離れた場所でルート案内が終了しますので、その際は目的地方位線を目安に、目的地まで進んでください。

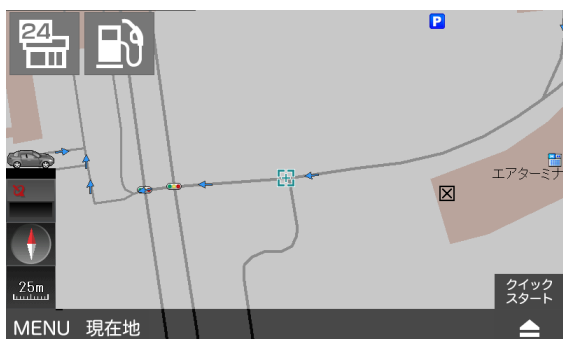
●ルート再検索（リルート）機能

ルートからある程度外れると、リルート検索を開始します。
ただし、車の速度やGPSの受信状況により、リルート検索に時間がかかることがあります。
また、右左折の方向案内が交錯することがありますので、ルートが安定してから案内に従ってください。

3-9. デモ走行

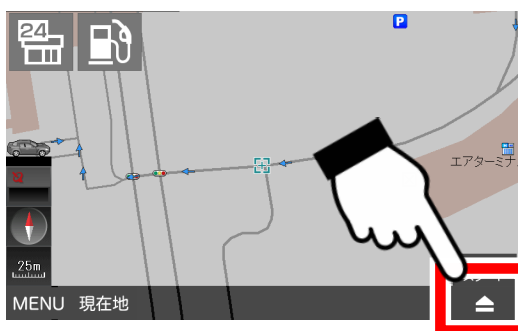
ナビ走行のテストを行うデモ走行の方法を解説します。

- ① 地図を移動して出発したい場所を中心にします。



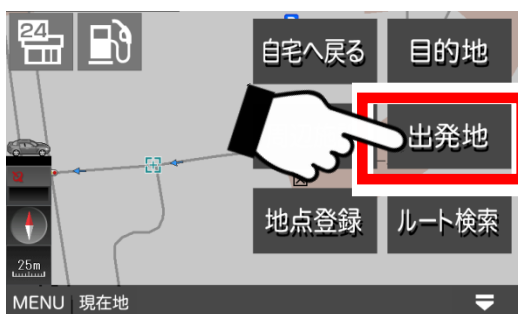
ナビ走行のときは、出発地は自動的に現在地となりますが、デモ走行では、出発地も自由に設定することができます。

- ② 地図画面の右下のボタンをタッチして「ナビ用パネル」を表示します。



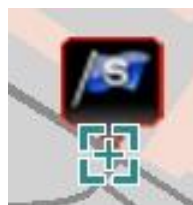
ナビ用パネル

- ③ 「ナビ用パネル」の「出発地」ボタンをタッチします。



出発地の旗

出発地として設定され、青い旗が立ちます。

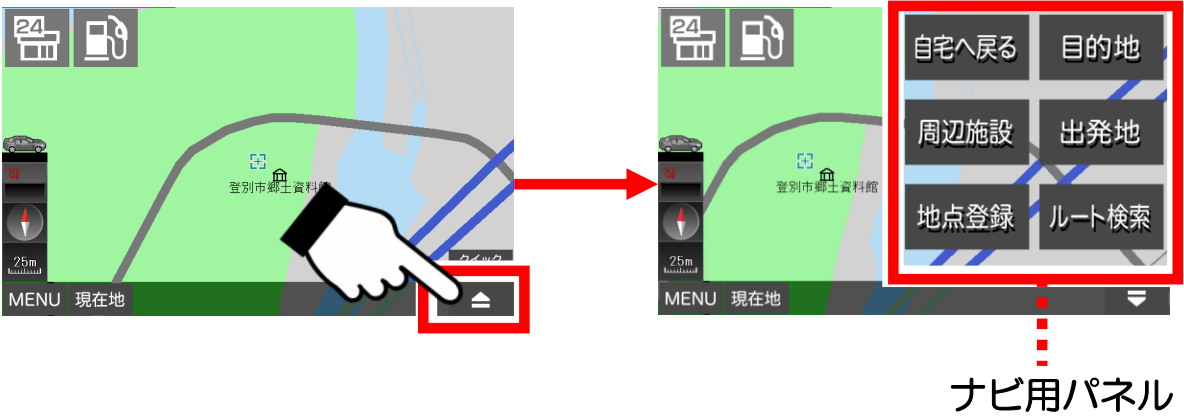


④ 続いて、地図を移動して行きたい場所を中心にします。

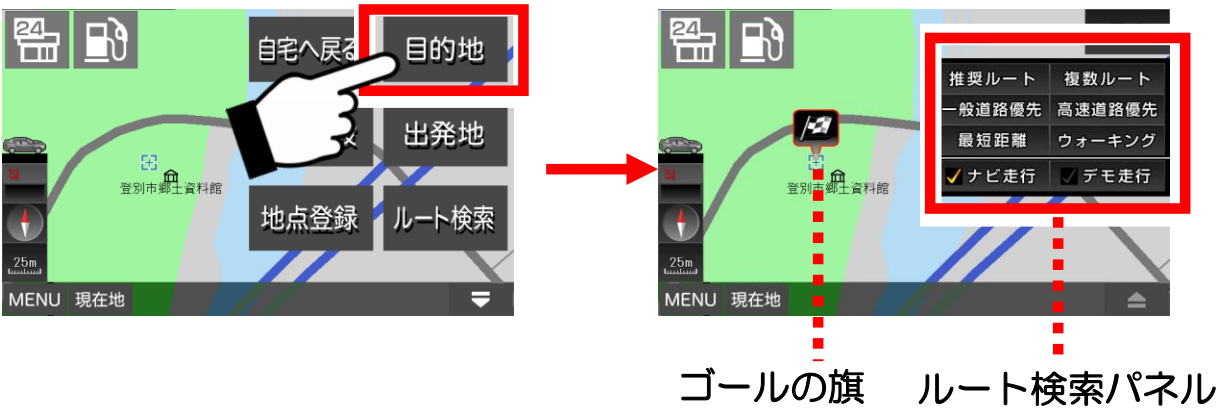


行きたい場所を表示するには、地図をタッチして移動して表示させる他に、ナビメニューにある検索機能や登録地点、履歴からも可能です。

⑤ 地図画面の右下のボタンをタッチして「ナビ用パネル」を表示します。



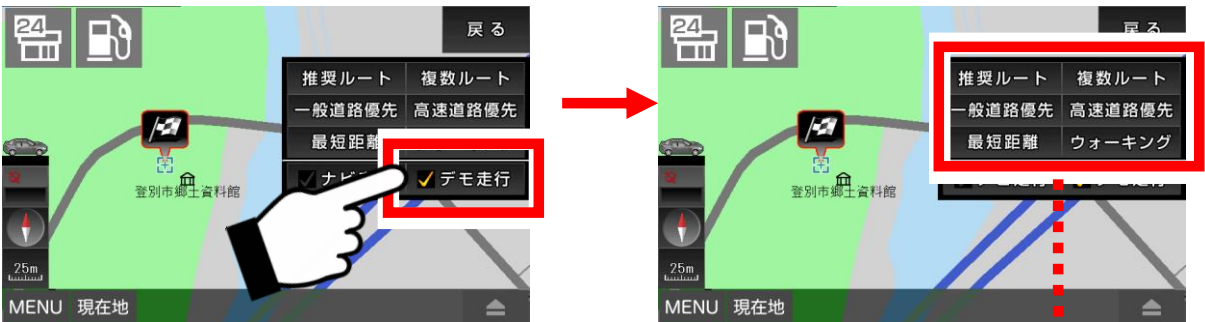
⑥ 「ナビ用パネル」の「目的地」ボタンをタッチします。



行きたい場所が目的地として設定されてゴールの旗が立ち、ルート検索パネルが表示されます。



⑦ ルート検索パネルの「デモ走行」にタッチしてチェックを付けてルートの種類を選んでタッチします。

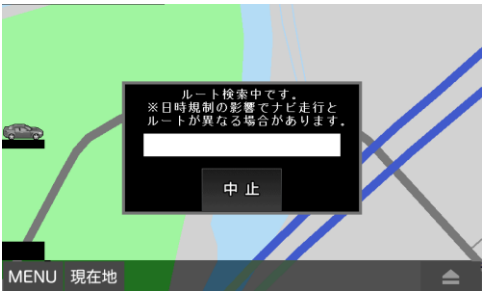


ルートの種類を選択



(注) 目的地を設定済みならば、ナビ用パネル「ルート検索」ボタンをタッチすればルート検索パネル画面になります。

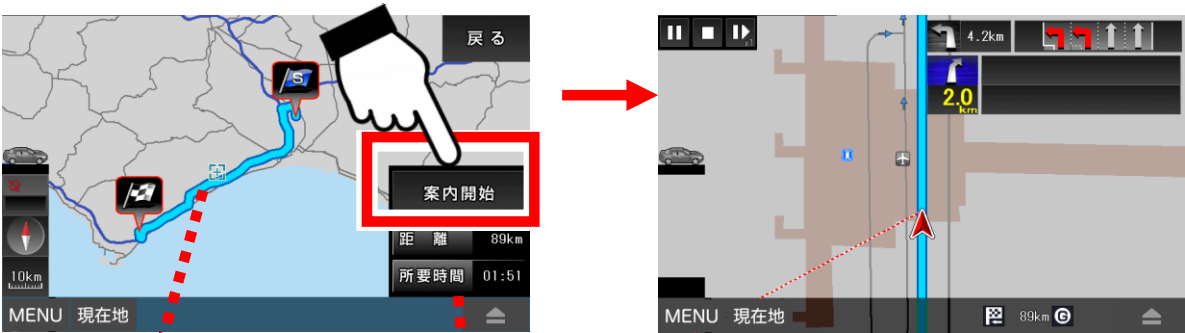
⑧ 出発地から目的地までのルート検索が始まります。



ルート検索には多少の時間がかかります。

(注) デモ走行で、ルート検索が失敗するときは、出発地と目的地の両方とも設定してあるか確認してください。

⑨ ルートが表示されたら「案内開始」ボタンをタッチします。あとは、自動的にデモ走行が再生されます。



ルート（水色） ルートの距離と所要時間（あくまで目安とお考え下さい）

3-10. ナビ走行中の画面

ナビ走行中の画面について解説します。

●ナビ走行中の画面の説明



その次に交差点があれば、その情報

次の交差点情報

自車の位置と向きを表す矢印

道路名

目的地までの距離（あくまで目安とお考え下さい）

デモ走行の時のみ表示、使用可

（注）道路名は、走行中の道路名データが存在するときのみ表示が出ます。
主要道路であっても表示がない場合もあります。予めご了承ください。

●デモ走行中の操作ボタン

デモ走行の時のみ、左上に操作ボタンが表示されます。



一時停止 停止 早送り（5段階で変化）

早送りボタンをタッチすると、車の移動が5段階で変化します。
「1倍速→2倍速→3倍速→4倍速→5倍速→1倍速に戻る」

●出発地・目的地の旗の削除について

出発地と目的地の旗は、別の場所に設定するとそちらに移動します。また、ナビを終了させても出発地と目的地の旗は保存されます。
出発地と目的地の旗の削除は、「設定」の「初期化」にある「出発地／目的地を削除」で行うことができます。

●オービスについての注意点



本ナビにおけるオービス機能は、電波を検知して知らせるのではなく、地図のデータとして埋め込まれていて、それを案内しています。

よって、オービスが実際は存在するのに、案内が行われない場合や既に撤去されている場合もあります。また、反対車線のオービスに反応して案内することもあります。

音声で、「制限速度に注意して～」と案内しますが、交差点の音声案内が優先されて、その音声流れない場合もあります。予めご了承下さい。

●交差点案内

ナビ走行中、次の交差点までの距離と車線の情報が表示されます。

交差点付近では拡大地図と分岐案内が表示されます。

音声案内は、直前と300m、500m手前で行われます。

次の交差点までの距離枠と、地図上の右左折地点が黄色で点滅します。



その次の交差点情報

次の交差点情報
(黄色で点滅)

方面案内看板



設定モードの「基本設定」
において、交差点案内を
「矢印」にしている場合

右左折地点が黄色の円で点滅



拡大表示
(交差点案内を「矢印」
にしている場合は表示
されません。)

●高速道路案内

ナビ走行中、高速道路を利用する場合は、
 入り口案内、分岐案内、施設案内が表示されます。
 音声案内は、直前と300m、500m、1km、3km手前で行われます。
 高速入口・次の分岐地点・次の高速施設までの距離枠と、地図上の高速施設・分岐地点が黄色で点滅します。



高速入口の
 ・名称
 ・距離
 ・進入方向
 (黄色で点滅)

高速入口イメージ

高速施設・分岐地点が黄色の円で点滅



分岐までの距離・名称
 (黄色で点滅)

分岐案内看板

分岐イメージ



ひとつ先の施設へ

施設案内
 ・種類と名称
 ・距離
 ・予想通過時間
 (黄色で点滅)

施設案内表示を元に戻す

ひとつ前の施設へ

3-11. 周辺施設検索

周辺施設の検索について解説します。

周辺施設のボタンをタッチすると、地図の中心から距離の近い順に10km圏内で500件までの施設を検索することができます。

- ① 地図画面上で検索したい場所を中心にして「周辺施設」ボタンをタッチします。



- ② 検索画面からジャンルを選び、リストから施設名をタッチします。



リスト移動

地図の中心からの距離(m)と方向

施設の詳細情報

- ③ 選んだ施設がある地図へ移動します。



吹き出し

※周辺施設データは、全てをカバーしているわけではありません。

目的のデータが存在しない場合もございます。また、データが古い場合もございますので、予めご了承ください。

3-12. 地点登録

地点登録の方法について解説します。

地図の場所を記録しておくことが出来ます。記録しておけば、ナビメニューの登録地点から、その場所へすぐに移動することが可能になります。

① 登録したい場所を中心にして「地点登録」ボタンをタッチします。



② 登録画面のアイコンと名前を編集して、「登録」ボタンをタッチします。確認画面で「OK」ボタンをタッチします。

- ・アイコン変更用左右ボタンでお好みのアイコンを選ぶ。
- ・文字種ボタンで文字の種類を選ぶ。
- ・【削除】ボタン、文字ボタンを使用して文字を入力する。



アイコン変更用
左右送りボタン

文字種変更



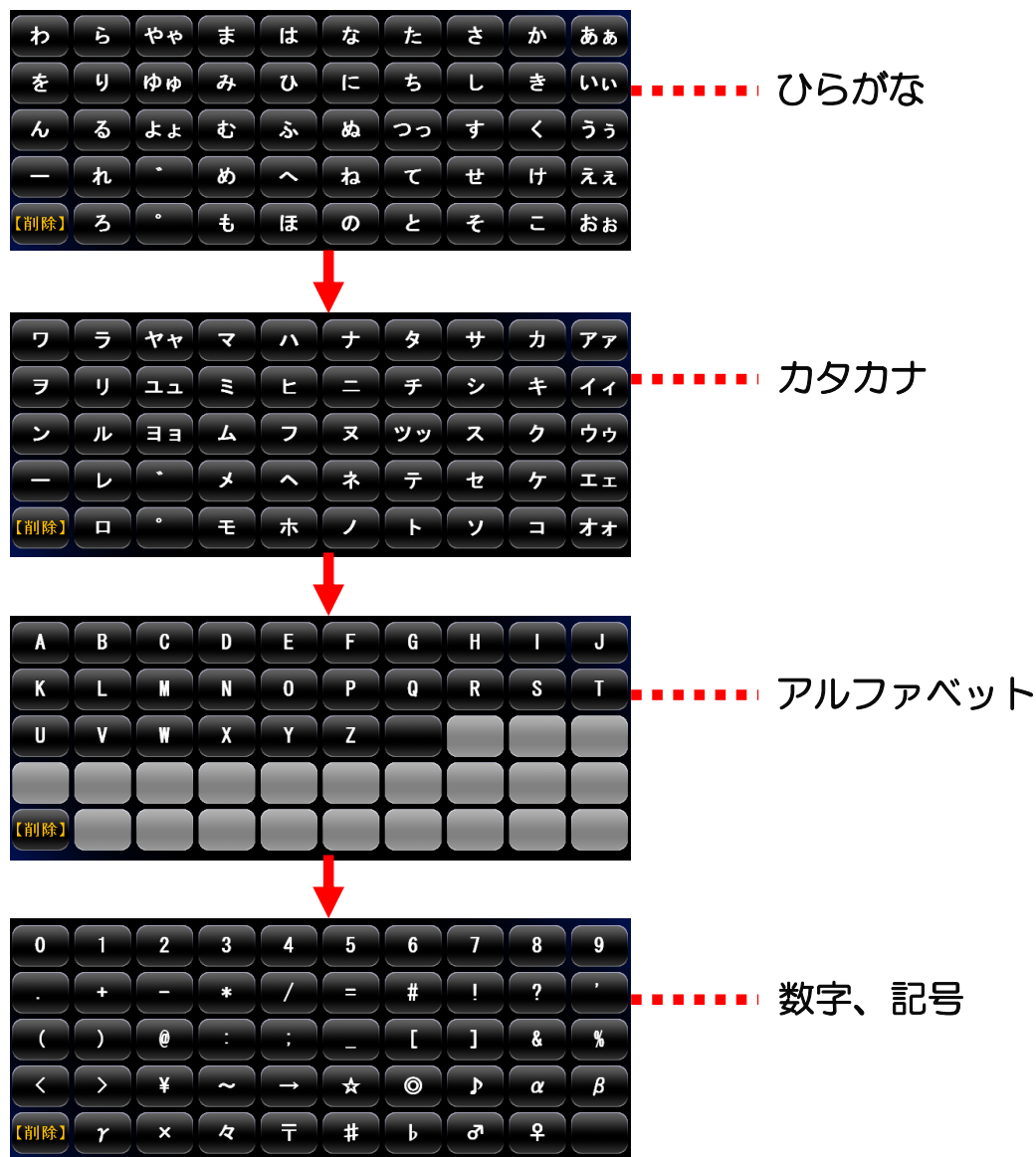
③ 登録が完了すると、地図に移動してアイコンと名前の吹き出しが地図に表示されます。



アイコンと吹き出し

●文字種の切り替えについて

地点登録の登録画面の下にある「文字種」ボタンをタッチするたびに、文字種が切り替わります。



(注) 入力した文字を漢字に変換することは出来ません。

※入力パネルの使い方は「入力パネルの使い方」解説ページをご覧ください。

※登録地点の確認や地図への移動、編集や削除については、ナビメニューの「登録地点」解説ページをご覧ください。

3-13. 自宅の登録・自宅へ戻る

自宅へ戻る機能について解説します。

自宅を登録しておくことで、すばやく自宅までのルート検索が行えます。
登録方法は地点登録と同じで、アイコンに自宅専用を選ぶだけです。

●自宅を登録する

- ① 自宅の場所を中心にして画面の右にある「地点登録」ボタンをタッチします。



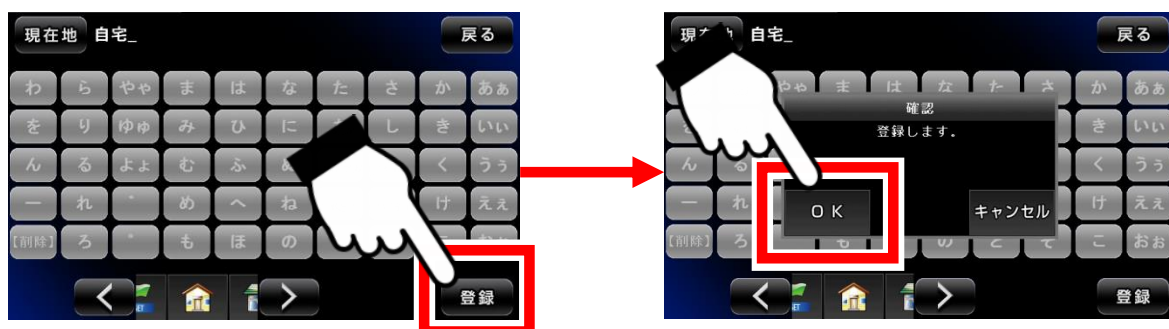
- ② 登録画面の下にあるアイコンをひとつ左に移動させて「赤い屋根の家」に変えます。



赤い屋根の家

※登録名は「自宅」に固定されて、入力パネルが無効になります。

- ③ 「登録」ボタンで確認画面を出し、「OK」ボタンをタッチします。



- ④ 登録が完了すると、地図に移動して、赤い屋根の家アイコンと「自宅」の吹き出しが地図に表示されます。



●自宅に戻る

- ① 「ナビ用パネル」の「自宅へ戻る」ボタンをタッチします。



(注) 自宅が登録されていないと、ルート検索に失敗します。

- ② 自宅に登録した場所が自動的に目的地になり、ルート検索パネルが表示されます。



●自宅の削除について

地点登録した自宅を削除することは出来ません。別の場所に設定すると、そちらに自宅が移動します。必ず地図上にひとつ存在することになります。

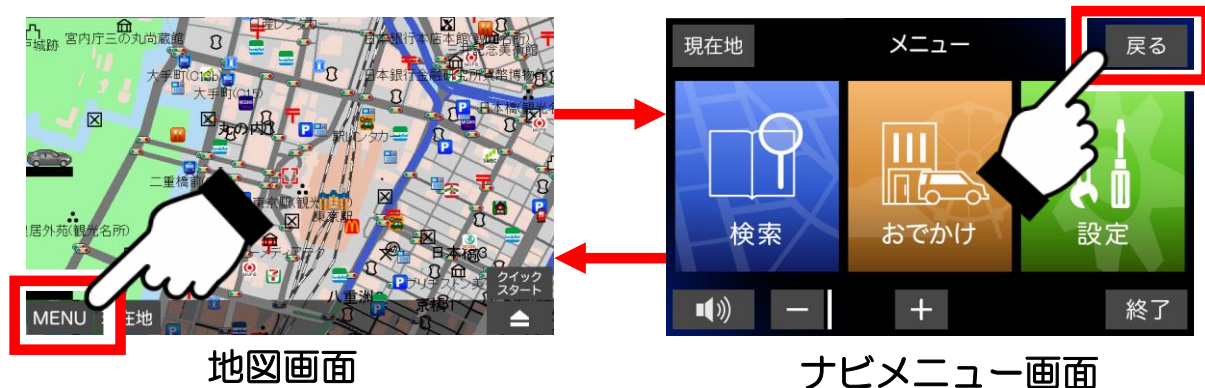
※ただし、設定画面で「出荷状態に戻す」を行うと、自宅も削除されます。

3-14. ナビメニュー

ナビメニューの機能について解説します。

●ナビメニューと地図画面の切り替え

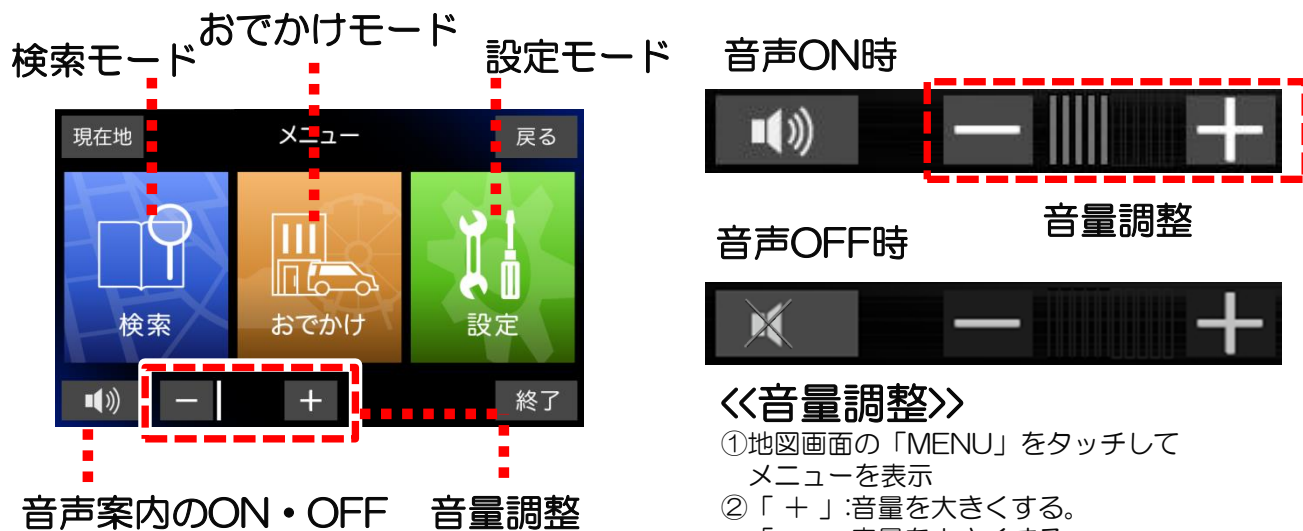
地図画面の左下にある「MENU」ボタンをタッチすると、ナビメニューになります。またナビメニューの右上の「戻る」ボタンで、地図画面へ戻ります。



●ナビメニュー画面

「検索」「おでかけ」「設定」ボタンをタッチすると、それぞれの操作画面へ移動します。

「音声ON」ボタンをタッチすると、ナビ走行中の音声案内のONとOFFの切り替え、横の「+」「-」をタッチで音量調整が出来ます。



<<音量調整>>

- ①地図画面の「MENU」をタッチしてメニューを表示
- ②「+」:音量を大きくする。
「-」:音量を小さくする。
「🔊」:音を出す。
「🔇」:音を消す。(消音状態)

※音量調整変更後、「戻る」で地図の画面に戻らずに電源を切ると設定は記憶されません。

(注)「音声ON」の表示で音量がゼロでないときに、ナビ走行中の音声案内が流れないときは、本体の主音量がゼロでないかご確認ください。
本体の主音量の設定は、本体の設定画面の説明ページをご覧ください。

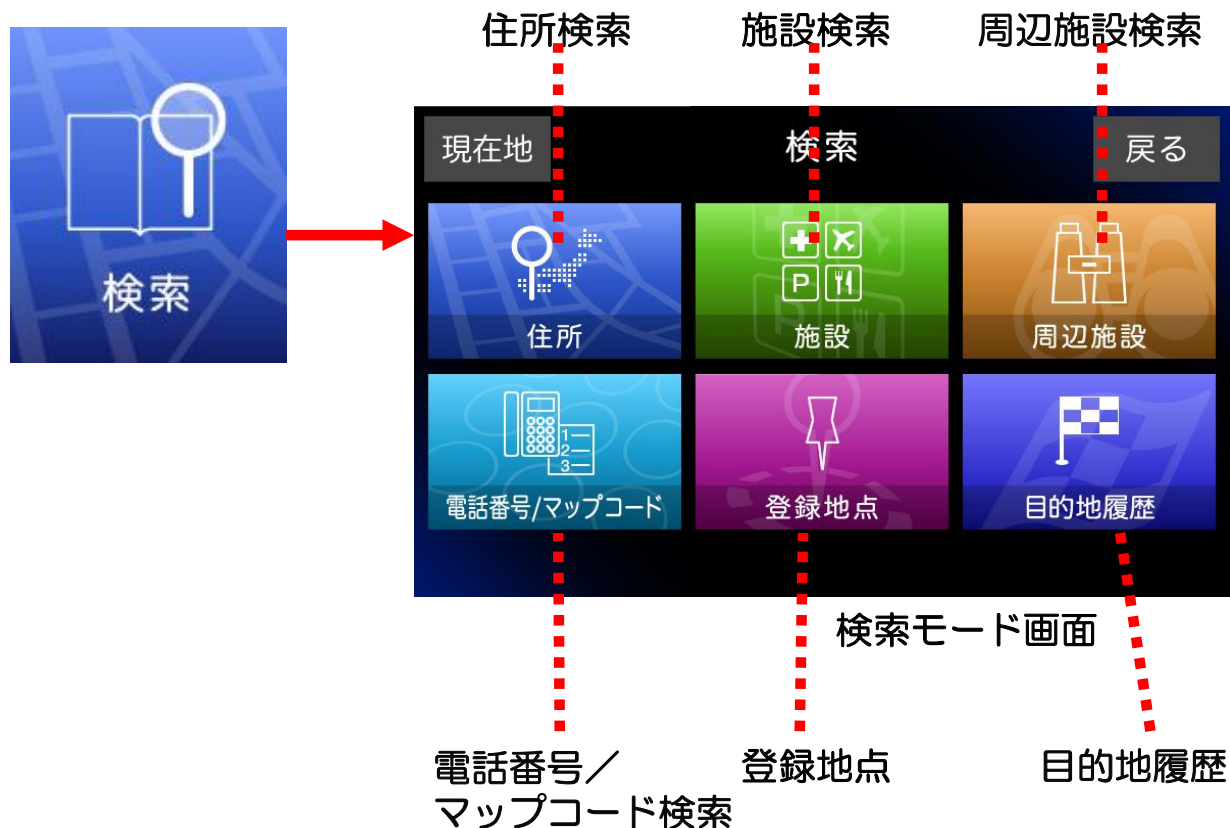
3-15. 検索モード

検索モードの機能について解説します。

●検索モードの画面

検索モードでは、以下の操作が行えます。

住所、施設、周辺施設、電話番号／マップコードの検索。登録地点と目的地履歴の一覧表示と編集。



各パネルとタッチすると、操作画面へ移動します。

「現在地」ボタンをタッチで地図画面、「戻る」ボタンをタッチでナビメニューへ移動します。

※「周辺施設検索」については、地図画面の「周辺施設検索」解説ページをご覧ください。同じ機能になります。

3-15-1. 住所検索

住所検索の方法について解説します。

住所検索は右の入力パネルをタッチしながら、
「都道府県→市区町村→町丁目→番地（号）」の順で絞り込みます。

- ① 検索モード画面の中の「住所」ボタンをタッチして、住所検索画面へ移動します。



例として、
「東京都八王子市元本郷町3-24-1」を検索します。

- ② 都道府県の「東京都（とうきょうと）」を探します。

入力パネルから「た行」をタッチすると、候補のリストが表示されます。
「リスト移動」ボタンでリストを移動して、「東京都」を探します。見つかったら、それをタッチします。



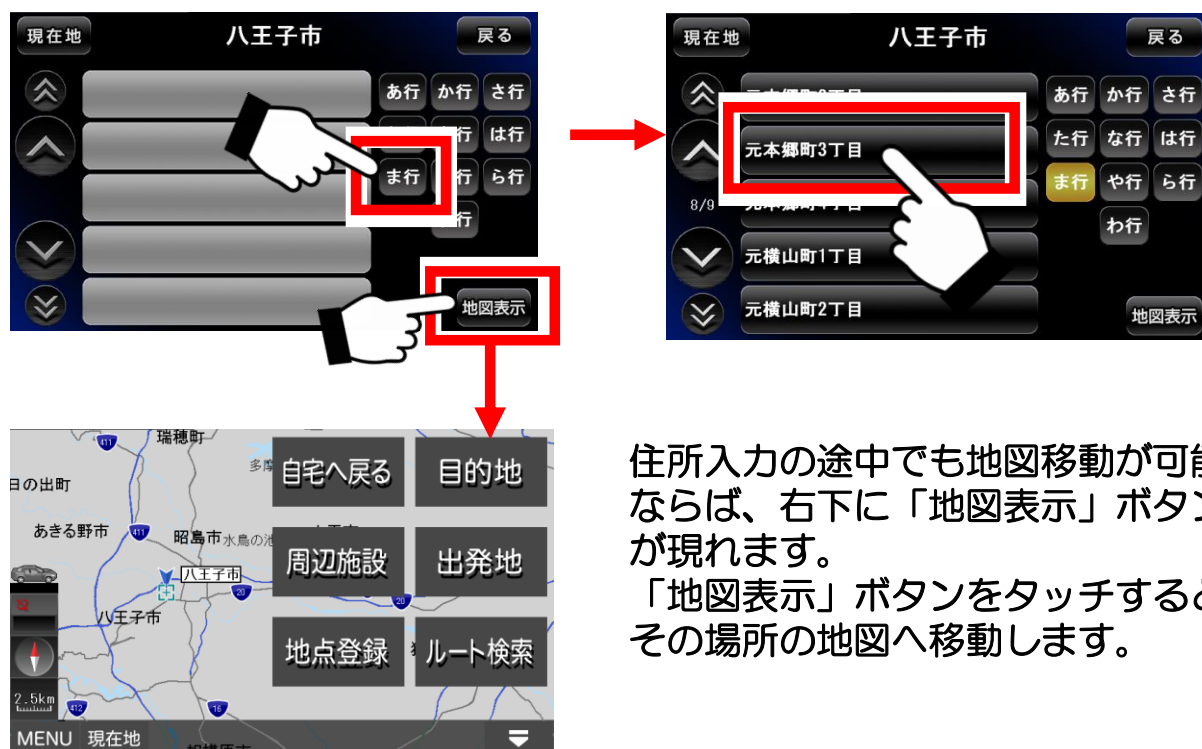
リスト移動
(端の「<<」「>>」で10ページ分移動)

- ③ 市区町村の「八王子市（はちおうじし）」を探します。

入力パネルから「は行」をタッチして「八王子市」を探します。見つかったら、それをタッチします。



- ④ 町丁目の「元本郷町（もとほんごうちょう）3丁目」を探します。
 入力パネルから「ま行」をタッチして「元本郷町3丁目」を探します。見つかったら、それをタッチします。



住所入力の途中で地図移動が可能ならば、右下に「地図表示」ボタンが現れます。
 「地図表示」ボタンをタッチするとその場所の地図へ移動します。

- ⑤ 番地（号）の「24-1」を入力します。

番地まで来ると入力パネルが数字に変わりますので、「24-1」と順番にタッチしていきます。入力が終わり、「地図表示」ボタンをタッチすると、その住所の地図へ移動します。



※住所検索データは、全てをカバーしているわけではありません。
 存在しない地域もございます。その場合「入力された住所が見つかりません。〇〇で地図を表示しますか？」と代替りの住所が提示されます。
 予めご了承下さい。

3-15-2. 施設検索

施設検索の方法について解説します。

施設検索は入力パネルでキーワードを指定して検索します。検索結果は50音順で表示されます。さらに、ジャンルで絞り込むことができます。

- ① 検索モード画面の中の「施設」ボタンをタッチして、施設名称検索画面へ移動します。



例として、「秋葉原駅」を検索します。

- ② 入力パネルに「あきはばら」と入力して、「検索」ボタンをタッチします。

履歴



入力パネル画面



検索方法

「<<履歴」ボタンから過去の検索履歴（最大5件）を表示できます。検索方法を「先頭一致・部分一致」の2つから選べます。

- ③ 検索の結果から目的の場所をタッチすると、地図に移動します。



施設の詳細情報



吹き出し

※施設データは、全てをカバーしているわけではありません。

目的のデータが存在しない場合もございます。また、データが古い場合もございますので、予めご了承下さい。

施設検索の方法（ジャンルで絞り込む）について解説します。

例として、「秋葉原駅」をジャンル「交通機関・道路施設」で絞り込んで検索します。

- ① 入力パネルに「あきはばら」と入力して、「検索」ボタンをタッチします。

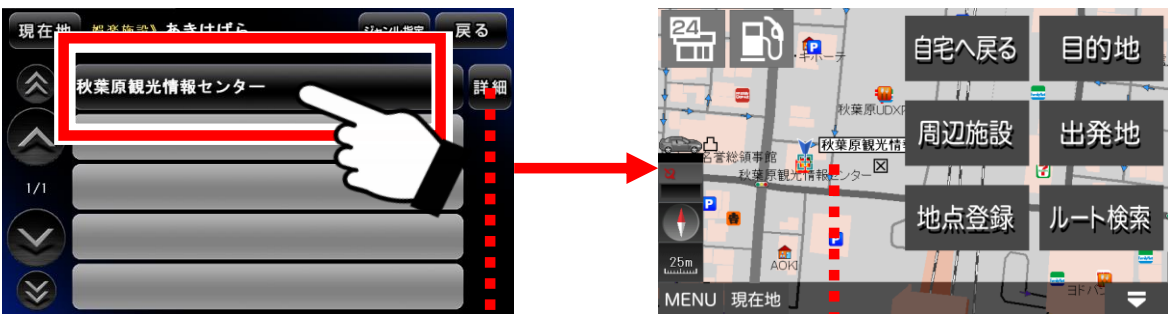


入力パネル画面

- ② 「ジャンル指定」ボタンをタッチして、「交通機関・道路施設」をタッチします。



- ③ 検索結果が「交通機関・道路施設」で絞り込まれます。目的の場所をタッチすると、地図に移動します。



施設の詳細情報

吹き出し

3-15-3. 電話番号／マップコード検索

電話番号とマップコードによる検索の方法について解説します。

電話番号とマップコード検索は入力パネルから電話番号、マップコードを入力して検索します。

- ① 検索モード画面の中の「電話番号／マップコード」ボタンをタッチします。さらに、電話番号とマップコードどちらかのボタンをタッチします。



- ② 入力パネルから電話番号検索なら電話番号を、マップコード検索ならマップコードを入力して、「検索」ボタンをタッチします。



電話番号とマップコードどちらでも入力するデータが異なるだけで、検索方法は同じです。

※電話番号は、ハイフンを付けても付けなくても検索ができます。

※個人情報保護の観点から、個人宅の電話番号検索は出来ません。

③ 検索の結果、該当するデータがあれば「地図表示」ボタンをタッチして地図に移動します。



※電話番号データは、全てをカバーしているわけではありません。

目的のデータが存在しない場合もございます。また、データが古い場合もございますので、予めご了承下さい。

●マップコードに関して

マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。
簡単な数字のコードで、緯度経度を表現することが出来る技術です。

詳しくは、下記WEBサイトをご覧ください。

<http://www.e-mapcode.com/>

また、マップコードについてのお問い合わせには対応しかねますので、
ご了承下さい。

3-15-4. 登録地点

地図画面で地点登録した内容を確認、編集する方法について解説します。

●登録地点の地図へ移動する

①「検索モード」の中の「登録地点」ボタンをタッチして、登録地点画面へ移動します。



② 目的の登録地点のアイコンを右のパネルから選び、タッチします。



③ そのアイコンで登録されている地点がリストに表示されます。その中から目的の登録地点をタッチすると、それがある地図へ移動します。



アイコンと同じ吹き出し2個

※ 同じ吹き出しが2個重なるのは、検索結果による吹き出しと、地点登録に保存された吹き出しが同じためです。登録地点からの地図表示は必ずこうなります。

※ 右下の「target」と書いてある緑色の旗のアイコンには、最初からいくつかの地点が登録してあります。

●登録地点を削除する

- ① 登録地点画面の中で削除したい登録地点の横にある「編集」ボタンをタッチします。



登録地点画面

- ② 編集画面の左下にある「削除」ボタンをタッチします。
確認画面が中央に現れるので、「OK」ボタンをタッチします。



編集画面



確認画面

- ③ 登録地点画面に戻り、削除が完了します。



登録地点画面

●登録地点の名前を変更する

- ① 登録地点の画面の中で変更したい登録地点の横にある「編集」ボタンをタッチします。



登録地点画面

- ② 編集画面の入力パネルを操作して名前を変更します。



編集画面



※入力パネルの使い方は「入力パネルの使い方」解説ページをご覧ください。

- ③ 変更が完了したら「登録」ボタンをタッチします。
確認画面が中央に現れるので、「OK」ボタンをタッチします。



確認画面

- ④ 登録地点画面に戻り、変更が完了します。

3-15-5. 目的地履歴

目的地履歴について解説します。

目的地履歴は、ルート検索で目的地として使用された場所（吹き出しが表示されている状態で目的地に設定した場所のみ）が、保存されています。

●目的地履歴から地図へ移動する

- ①「検索モード」の中の「目的地履歴」ボタンをタッチして目的地履歴画面へ移動します。



- ② 目的地履歴として保存されているリストに表示されます。その中からタッチすると、それがある地図へ移動します。



目的地履歴画面



吹き出し

●目的地履歴を削除する

- ① 削除したい目的地履歴の横にある「削除」ボタンをタッチします。確認画面が中央に現れるので、「OK」ボタンをタッチします。



目的地履歴画面



確認画面

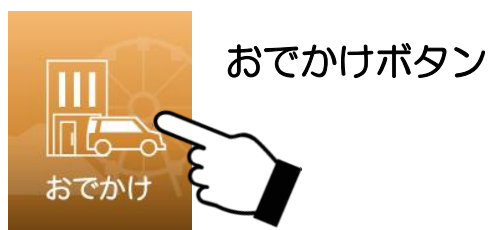
※目的地履歴に保存されるのは、検索などにより吹き出しが表示されている状態の場所を目的地として登録したもののだけです。

3-16. おでかけモード

おでかけモードの機能について解説します。

おでかけモードは、車の運転中によく立ち寄るであろうショッピング・グルメ・観光・娯楽・スポーツといったスポットが集められています。

- ① ナビメニュー画面の「おでかけ」ボタンをタッチすると「おでかけモード」の画面が表示されます。



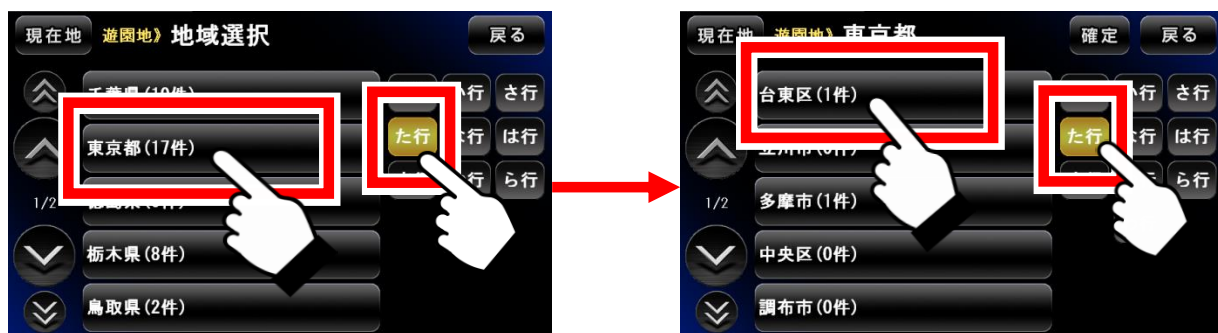
例として、「浅草花やしき」の地図に移動します。

- ② スポット選択画面（おでかけモード画面）で「観光・娯楽」を選び、その中のリストから「遊園地」をタッチします。



スポット選択画面

- ③ 地域選択画面で地域を絞り込みます。
「た行」から東京、「た行」から台東区と選んでいきます。



地域選択画面

※東京を選ぶと、右上に「確定」ボタンが現れます。この段階で「確定」ボタンをタッチすると、東京にある遊園地が検索対象となります。

- ④ 絞り込みが終わるか、途中で「確定」ボタンをタッチすると、検索結果のリストが表示されます。



リストの名前をタッチすると、
⑥の地図表示へ

- ⑤ 目的のスポットの横にある「詳細」ボタンをタッチすると、そのスポットの詳細情報画面に移動します。



詳細情報画面

- ⑥ 詳細情報画面の右下にある「地図表示」ボタンをタッチすると、そのスポットの地図へ移動します。



詳細情報画面



吹き出し

※スポットデータは、全てをカバーしているわけではありません。

目的のデータが存在しない場合もございます。また、データが古い場合もございますので、予めご了承下さい。

3-17. 設定

ナビの設定について解説します。

ナビメニュー画面の「設定」ボタンをタッチすると「基本設定」画面が表示されます。



●基本設定

「基本設定」の中で有効にしたい設定をタッチして、チェックを付けます。



基本設定画面（1ページ）



基本設定画面（2ページ）

※「地図色自動」を自動にすると、時刻によって地図色を自動的に切り替えます。地図色を昼に固定する場合は、「地図色」を昼、「地図色自動」を手動に設定します。

●アプローチチャイム設定

登録地点や目的地をターゲットに選んで、距離を設定しておくで、現在地がその範囲に入ったとき、チャイムでお知らせします。

- ①「設定地」ボタンをタッチします。ターゲットにしたい登録地点を選び、タッチして上部の「設定地>>」に表示させます。表示されたら「戻る」ボタンをタッチして戻ります。



ターゲットの解除は、「ターゲット選択画面」で右下の「解除」ボタンをタッチします。「設定地>>」のところが空白になります。

- ② チャイム設定1、2の距離のところをタッチして、チャイムを鳴らす距離を設定します。

距離を「10km」に指定している場合、ターゲットに対して10km、9km、8kmと近付いた時に、3段階でチャイムを鳴らします。



アプローチチャイム設定をしてナビ走行を行うと、自車からターゲットまで青い点線が引かれます。
また、右下にターゲットまでの距離を一定間隔で表示します。



ターゲットまでの距離を一定間隔で表示

③ 目的地をアプローチチャイムのターゲットに含める

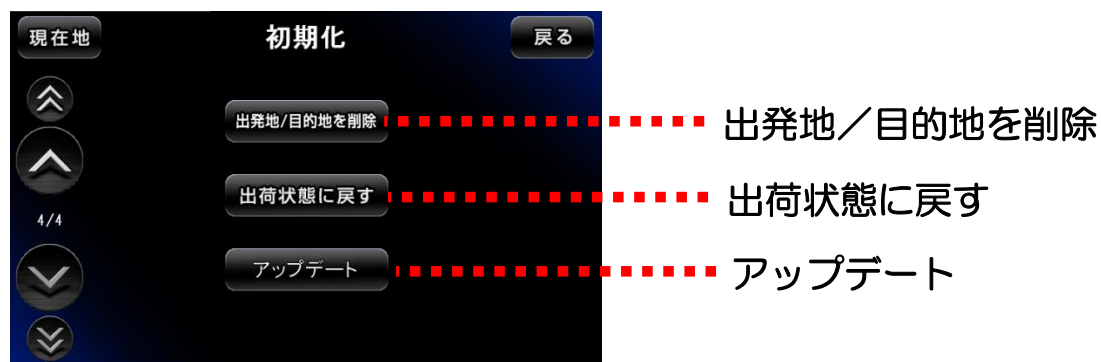
アプローチチャイム設定画面の右下にある「目的地」ボタンをタッチして有効にすると、目的地に設定している地点もターゲットになります。



アプローチチャイム設定画面（3ページ）

目的地のターゲット解除は、「目的地」ボタンをもう1度タッチします。タッチする毎に、ターゲット設定のオン、オフが切り替わります。

●初期化



初期化画面（4ページ）

「出発地／目的地を削除」を行うと、出発地の旗・目的地の旗を削除します。

「出荷状態に戻す」を行うと、出発地の旗・目的地の旗、登録地点（自宅含む）や目的地履歴が削除され、お買い上げ時の状態に戻ります。

「アップデート」は、現時点で使用することはありません。バージョンアップが可能になった段階で使用するボタンです。バージョンアップの状況や操作方法については、サポート用ホームページでお知らせできる段階になりましたら案内します。

3-18. 入力パネルの使い方

入力パネルの使用方法について解説します。

●入力パネル

ナビメニューから施設検索でキーワードを入力したり、登録地点の登録名を編集したりする場合は、この入力パネルをタッチして行います。



文字の削除は、左下にある黄色の「【削除】」をタッチします。

小さい「ゆ」は、「ゆ」をすばやく2回タッチします。

濁音の「が」は、「か」をタッチした後、「ˆ」をタッチします。

文字をタッチすると、上部に吹き出しが表示されます。



(注) 入力した文字を漢字に変換することは出来ません。

3-19. ウォーキングナビ

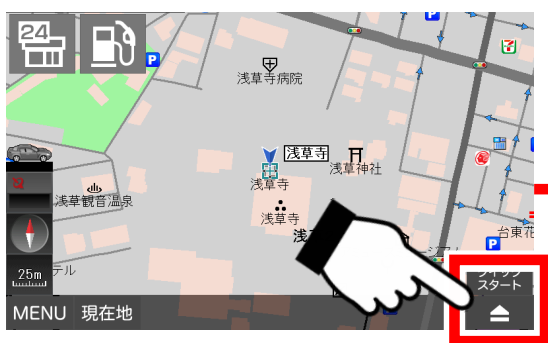
ウォーキングナビについて解説します。設定の手順は、ナビ走行（デモ走行）と全く一緒です。

① 地図を移動して行きたい場所を中心にします。



行きたい場所を表示するには、地図をタッチして移動して表示させる他に、ナビメニューにある検索機能や登録地点、履歴からも可能です。

② 地図画面の右下のボタンをタッチして「ナビ用パネル」を表示します。



地図画面

ナビ用パネル

③ 「ナビ用パネル」の「目的地」ボタンをタッチします。



ゴールの旗

ルート検索パネル

行きたい場所が目的地として設定されてゴールの旗が立ち、ルート検索パネルが表示されます。



- ④ ルート検索パネルの「ナビ走行」にタッチしてチェックを付けてルートの種類にある「ウォーキング」をタッチします。



- ⑤ 現在地から目的地までのルート検索が始まります。



現在地が分かっているときは、衛星の捕捉が始まります。そこで現在地が確定した段階で、ルート検索へ進みます。多少の時間がかかります。

- ⑥ ルートが表示されたら「案内開始」ボタンをタッチします。あとは、ナビに従って走行します。



※ 現在地から目的地まで直線が引かれるので、目的地の方向が視覚的に分かり、大変便利です。

●ウォーキングナビの注意点

- ※ 「ウォーキング」を選んだ場合、徒歩走行に合ったルートになります。
- ※ ナビ中に音声案内は流れません。また、車両による道路交通規制の表示もされません。ご注意ください。
- ※ あくまでも歩行の目安として、実際の道路規制に従って、歩行してください。
- ※ ナビ画面をご覧になる際やナビ操作をするときは必ず立ち止り周囲の安全を確認してから行ってください。
- ※ ウォーキングモードは、自転車に使用できません。また、自転車専用道路地図は搭載しておりません。

3-20. よくある質問

Q、現在地が表示されません。

現在地はGPSを受信して表示しますが、数分程度かかる場合もあります。GPSの電波が上手く受信出来ていない可能性もございますので、衛星配置図を確認して、受信状態の良い場所へ移動する等してみてください。

Q、ルート検索に失敗します。

ルート検索に失敗する場合は、出発地と目的地をずらす等して再度、検索してみてください。また、実際のナビ走行では、出発地はGPSから受信した現在地になりますので、GPSの受信状態を確認してみてください。

Q、ルート検索の結果がいつも通っているルートと違います。

ルートはナビソフトが計算した結果を表示しています。ルートによってはどうしてもお客様が望まれる結果にならない場合もございます。3種類あるルートの計算方法を変える等してみてください。結果のルートを変更する事は出来ませんので、予めご了承下さい。

Q、自車とナビとの位置と進行方向が違うときがあります。

GPSのアンテナの性能や受信状態によって、位置にずれが生じたり、進行方向が安定しない場合がございます。予めご了承下さい。

Q、検索しようとしても目的の場所が出てきません。

検索のデータが全てをカバーしていませんので、お客様が探している目的の場所が表示されない場合がございます。その場合お手数でございますが、近くの場所の地図を検索してから地図上をタッチして目的の場所へ移動する等して下さいますようお願い申し上げます。

Q、音声流れません。

ナビメニューの左下が「音声ON」の表示でボリュームがゼロでないことと、本体の音声ミュート状態（無音）になっていないか、このふたつを確認して下さい。

Q、検索したルートに違和感がある。

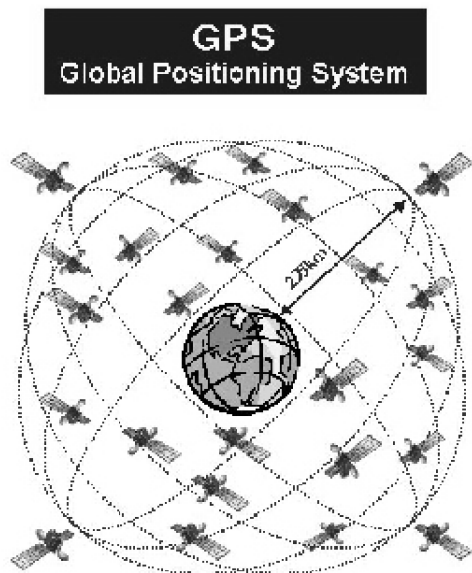
ナビのルート計算は使用する道路の規模や施設などを参考になるべく違和感の無いように本線優先でのルート案内を判断する様に作成しておりますが、例えば現在走行中の道路に対し側道に案内をして再度現在走行中の道路に戻されるルートを引く場合など実際の走行経験から考えますと違和感があるルートになる場合があります。

4. 制限事項

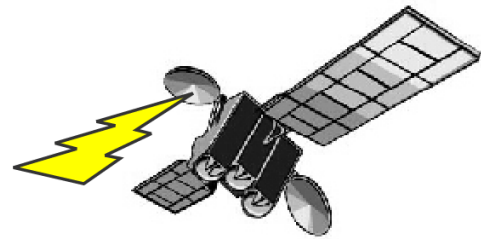
本製品には、以下の制限事項があります。

- ①本製品は、GPSの測位によりナビゲーションを行っています。
従って、GPSの測位が出来ない場所（室内や電波の入りづらい屋外等）では利用できません。
- ②GPSの受信状況により車両の位置が地図に描かれた道路上に正しくのらない場合があります。
- ③特にルートを設定しないフリー走行の場合、道路からはみだしたり、実際とは異なる道路上を走行する場合があります。
- ④ルート案内はあくまでも目安であり、日時規制を考慮しています。
ただし、車種は考慮していません。
- ⑤目的地までの距離、所要時間、到着予定時刻は、あくまでも目安としてご利用ください。
- ⑥フェリーを使ったルート案内は行っていません。
- ⑦細街路もルート検索の対象です。ただし、細街路の整備状況は地図データによるため、ルート検索の対象外となる細街路もあります。
- ⑧自動リルートが行われるタイミングは状況により異なります。ルートから離れた距離によって一律に行われるわけではありません。
- ⑨一般道優先でルートを引いた場合、一般道を優先しますが、必ずしも一般道だけでルートを引くわけではありません。
- ⑩本機のルート案内において、時間規制表示等の交通ルールが定められている場所では、そこでの交通ルール表示に従って走行してください。

5. GPSの基礎知識



【GPS】Global Positioning System
人工衛星を使った全地球測位システム。
宇宙部分(6つの異なる軌道に24の衛星
NAVSTAR)、制御部分(5つのモニター
局、1つの主制御局、3つのアップロード
局)、ユーザー部分(GPS受信機)で構成
されている。



【NAVSTAR】NAVigation satellite Timing And Ranging

GPS衛星に付けられた名前。NAVSTAR衛星は、軌道高度約20,000km、周回周期11.967分(約11時間58分)、6枚の軌道面に4個ずつ合計24個の衛星で全システムを構成し、複数のセシウムおよびルビジウム原子時計を搭載している。

【アルマナックデータ】Almanac Data

利用可能な全衛星の概略の軌道周回情報で、1度取得すれば、1週間程度利用できる。

【エフェメリスデータ】Ephemeris Data

現在位置を担当する観測衛星の詳細な軌道周回情報で1度取得すれば、1時間程度利用できる。エフェメリス・データを利用して衛星の位置を求め、現在位置を計算する。

【ホットスタート】Hot Start

エフェメリスデータ、アルマナックデータ、時刻データ、前回測位データが有効な状態で測位を開始すること。

【ウォームスタート】Warm Start

詳細な軌道データはないが前回測位時の衛星捕捉に関するデータを利用して、衛星の捕捉を開始することで衛星の捕捉時間を短縮できます。

【コールドスタート】Cold Start

前回の測位から1ヵ月以上過ぎている場合や、前回の測位地点から500km以上離れた場合でGPSを行うときは、新しく衛星軌道情報を取得して初期状態から測位を開始すること。

6. お問い合わせ先

※電話番号の掛け間違いの無いように十分ご注意ねがいます。

機器に関する問い合わせ

株式会社 カイホウジャパン サポートセンター

E-MAIL : Info@kaihou.com

電話 : 042-631-5357

FAX : 042-631-5359

営業時間 : 平日10:00~17:00

(土日祝祭日は休み)

地図情報、地図更新、ナビ操作に関する問い合わせ

ナビゲーション地図サポート

サポートページ : <http://www.mapnet.co.jp/kaihou>

E-MAIL : mapque@mapnet.co.jp

電話 : 03-3516-6080

FAX : 03-3516-6387

営業時間 : 平日10:00~17:00

(土日祝祭日は休み)

7. 地図データ 3年間更新無料 について

地図データ 3年間 更新無料 について

地図データ
3年間
更新無料

本製品は、ご購入日から3年間は、2回まで最新の地図データを無料更新ができます。

地図更新することにより、新しくできた道路など最新の道路情報でご使用いただけます。製品をお送りいただき、無料で地図更新をいたします。

※往復の送料に関しましては、お客様ご負担にてお願いいたします。

対象機種：TNK-718DT

条件：販売店の購入履歴がわかること

（販売店印および日付があるもの、販売証明書など）

購入後3年の間に2回まで無料更新ができます。

更新時期：年一回（毎年 春～夏頃）

※詳細の時期は下記ホームページにてお知らせします。

更新方法：更新方法につきましては、

- 製品本体
- 保証書
- 店舗購入証明等購入日付がわかるもの（保証書に購入店印、日付印があれば不要）
をお送りいただき、バージョンアップをして返却いたします。

※往復の送料はお客様のご負担願います。

（弊社からの返却発送は着払いとさせていただきます。）

※更新の際にはお客様の登録したデータが削除されることが御座います。

送り先については下記ホームページまたはサポートセンターにお問合せください。

株式会社マップネット（地図更新送り先）

ホームページ：<http://www.mapnet.co.jp/kaihou>

電話：03-3516-6080（サポートセンター）

FAX：03-3516-6387

※営業時間 平日10:00～17:00（土日祝祭日は休み）

株式会社カイハウジャパン（製品販売元）

ホームページ：<http://www.kaihou.com>

電話：042-631-5357（サポートセンター）

FAX：042-631-5359

※営業時間 平日10:00～17:00（土日祝祭日は休み）

< x ε >

発 売 元

株式会社 カイホウジャパン

〒192-0906

東京都八王子市北野町 598-11



カイホウジャパンホームページ <http://www.kaihou.com> /